

■ 第3章 ■

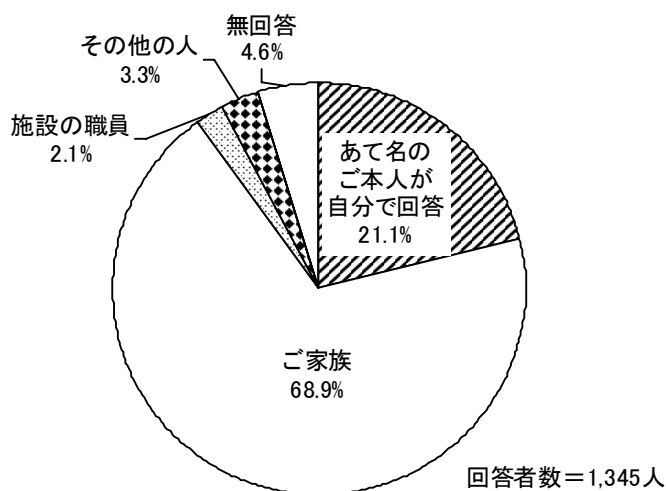
要介護認定者調査

1. 回答者の基本属性

(1) 回答者(問1)

この調査に回答される方を教えてください。(1つに○)

図表 3-1 回答者(単数回答)

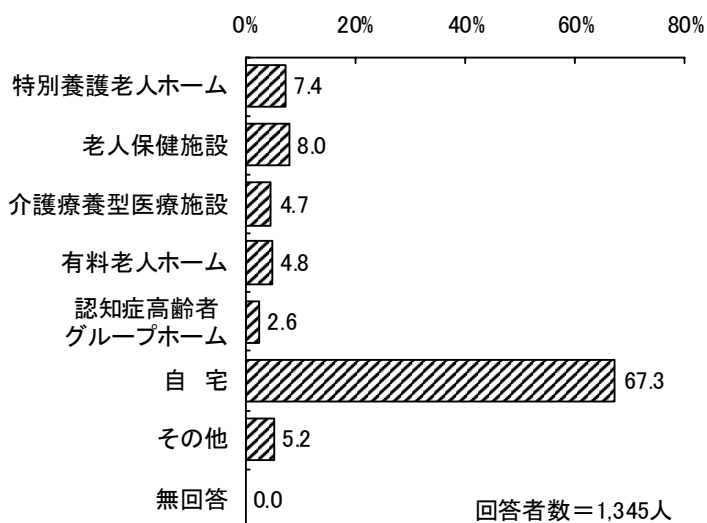


要介護認定者調査の回答者は、「あて名のご本人が自分で回答」は21.1%であり、「ご家族」が68.9%と7割近くを占める。また、「施設の職員」が回答している場合が2.1%となっている。

(2) 現在の生活場所(問5)

あなた(あて名のご本人)は、現在どこで生活していますか。(1つに○)

図表 3-2 現在の生活場所(単数回答)



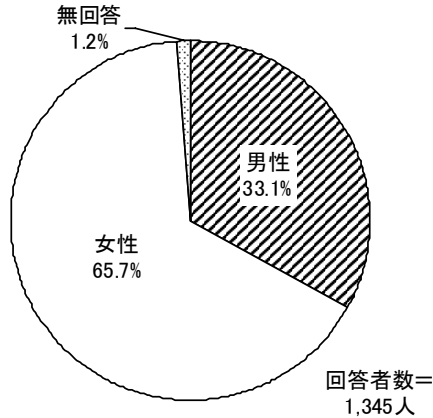
現在の生活場所は、「自宅」が67.3%を占める。

また、「特別養護老人ホーム」7.4%、「老人保健施設」8.0%、「介護療養型医療施設」4.7%、「有料老人ホーム」4.8%、「認知症高齢者グループホーム」2.6%を合わせた施設・居住系サービス利用者が27.5%となっている。

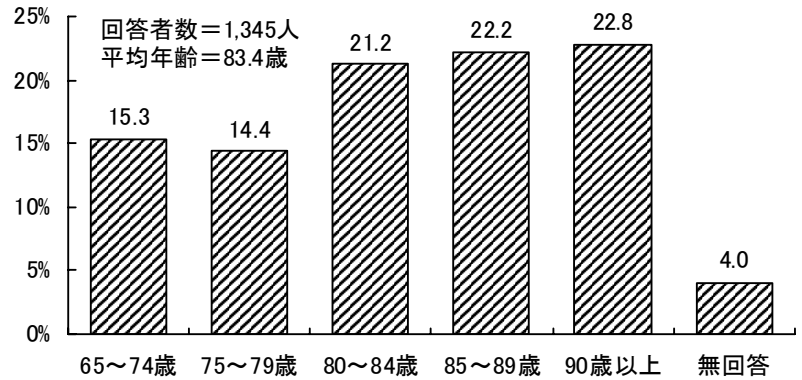
(3) 男女別と年齢(問2)

あなた(あて名のご本人)の性別と、平成20年1月1日現在の満年齢をお答えください。

図表 3-3 男女別(単数回答)



図表 3-4 年齢(単数回答)



男女別は、「男性」33.1%に対して、「女性」65.7%と、約3人に2人は女性である。年齢は、「90歳以上」22.8%がもっとも高く、次いで「85～89歳」22.2%、「80～84歳」21.2%と、80歳以上の年齢層が6割台を占める。平均年齢は83.4歳となっている。

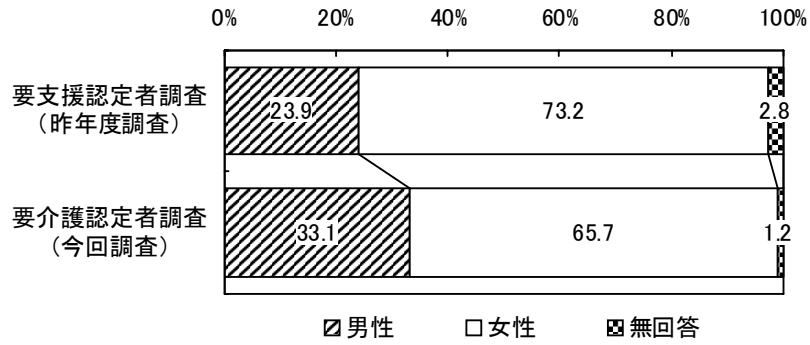
図表 3-5 年齢

		回答者数(人)	65～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答	平均年齢(歳)
全体		1,345	15.3	14.4	21.2	22.2	22.8	4.0	83.4
男女別	男性	445	24.9	18.0	20.9	18.9	12.1	5.2	80.5
	女性	884	10.6	12.8	21.5	24.0	28.5	2.6	84.9
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	4.0	11.1	26.3	20.2	33.3	5.1	86.3
	老人保健施設	108	10.2	9.3	16.7	25.9	31.5	6.5	85.5
	介護療養型医療施設	63	17.5	12.7	25.4	14.3	22.2	7.9	82.8
	有料老人ホーム	65	4.6	16.9	13.8	26.2	33.8	4.6	86.0
	認知症高齢者グループホーム	35	0.0	11.4	17.1	28.6	31.4	11.4	86.5
	自宅	905	18.3	14.9	21.7	22.3	19.7	3.1	82.7
	その他	70	15.7	21.4	20.0	18.6	21.4	2.9	82.7

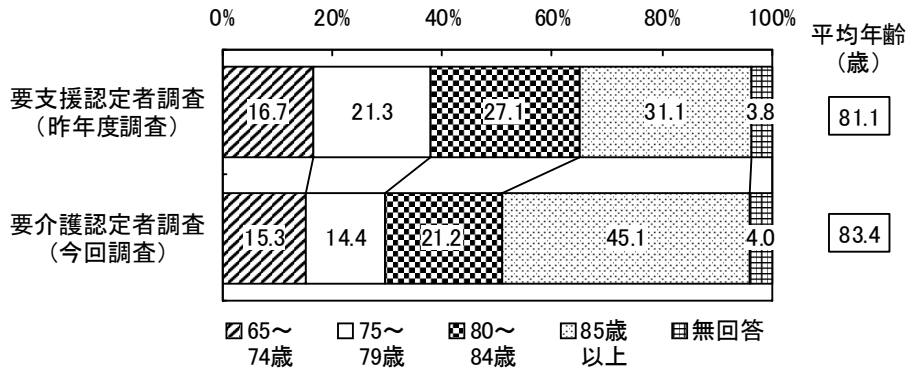
男女別にみると、男性の約4人に1人は「65～74歳」であるのに対し、女性では約1割であり「90歳以上」がもっとも高い。平均年齢は男性80.5歳、女性84.9歳となっている。

生活場所別にみると、特別養護老人ホーム、老人保健施設、有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム利用者は「90歳以上」が3割台を占め、平均年齢は85～86歳台と、自宅生活者の82.7歳に比べて高い。

図表 3-6 男女別(要支援認定者調査との比較)



図表 3-7 年齢(要支援認定者調査との比較)



平成 18 年度に実施した要支援認定者調査結果と比較したのが上図である。

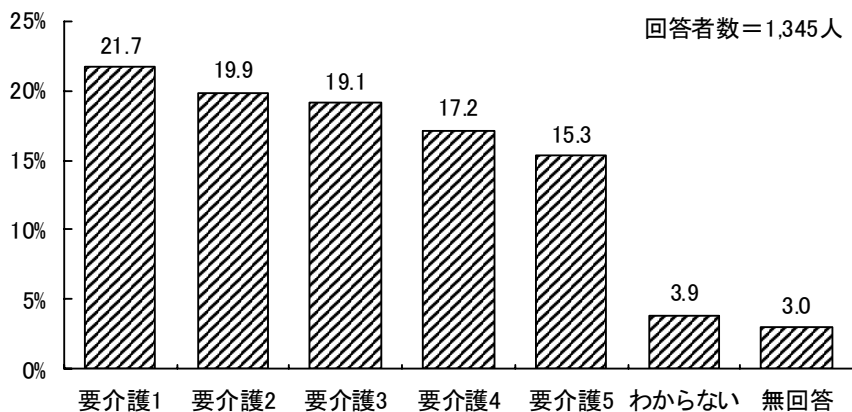
男女別をみると、要介護認定者調査回答者は要支援認定者調査回答者に比べて「男性」の割合が高く、「女性」の割合が低くなっている。

年齢は、要介護認定者調査回答者は「85歳以上」が4割台を占め、要支援認定者調査回答者に比べて年齢層が高いことがわかる。

(4) 要介護度(問3)

あなた(あて名のご本人)の現在の要介護度をお答えください。(1つに○)

図表 3-8 要介護度(単数回答)



要介護度は、介護度が低いほど割合が高く、「要介護1」が21.7%、「要介護2」が19.9%、「要介護3」が19.1%、「要介護4」が17.2%、「要介護5」が15.3%となっている。

図表 3-9 要介護度

		回答者数(人)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
全体		1,345	21.7	19.9	19.1	17.2	15.3	3.9	3.0
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	2.0	3.0	19.2	40.4	35.4	0.0	0.0
	老人保健施設	108	7.4	25.0	25.0	31.5	11.1	0.0	0.0
	介護療養型医療施設	63	4.8	6.3	15.9	15.9	52.4	4.8	0.0
	有料老人ホーム	65	15.4	21.5	24.6	16.9	20.0	0.0	1.5
	認知症高齢者グループホーム	35	20.0	20.0	31.4	17.1	5.7	2.9	2.9
	自宅	905	27.5	22.5	18.2	12.4	10.2	5.0	4.2
	その他	70	18.6	11.4	12.9	25.7	27.1	4.3	0.0

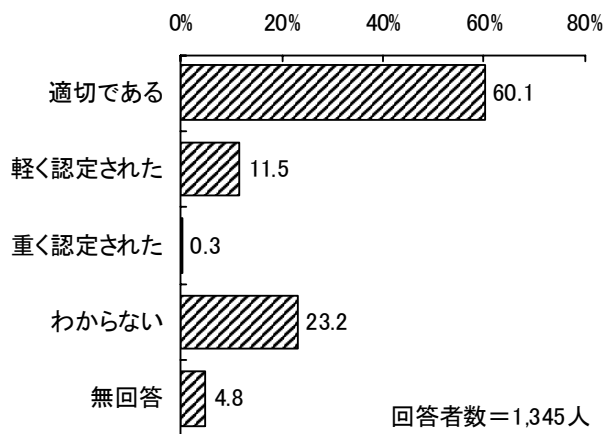
生活場所別にみると、自宅生活者は「要介護1」が3割弱を占めてもっとも高く、「要介護4」「要介護5」の重度認定者の割合は22.6%となっている。

一方、施設・居住系サービス利用者については、特別養護老人ホーム及び老人保健施設利用者は「要介護4」がもっとも高く、「要介護4」「要介護5」の重度認定者がそれぞれ75.8%、42.6%を占める。介護療養型医療施設利用者は5割強が「要介護5」である。有料老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム利用者は、「要介護3」の割合がもっとも高い。

(5)現在の要介護度に対する意識(問4)

あなた(あて名のご本人)は、上記の現在の要介護度について、適切だと思いますか。
 (1つに○)

図表 3-10 現在の要介護度に対する意識(単数回答)



現在の要介護度に対する意識としては、「適切である」が 60.1%を占める一方、11.5%と 1 割強が「軽く認定された」と回答している。「重く認定された」は 0.3%であった。

図表 3-11 現在の要介護度に対する意識

		回答者数(人)	適切である	軽く認定された	重く認定された	わからない	無回答
全体		1,345	60.1	11.5	0.3	23.2	4.8
要介護度別	要介護 1	292	45.9	22.9	0.0	28.1	3.1
	要介護 2	267	53.9	18.0	0.0	25.1	3.0
	要介護 3	257	64.6	10.5	0.0	23.7	1.2
	要介護 4	231	74.0	3.9	0.0	18.6	3.5
	要介護 5	206	90.8	0.0	1.9	4.9	2.4
	わからない	52	5.8	1.9	0.0	82.7	9.6

要介護度別にみると、要介護 5 の人では「適切である」が約 9 割を占めるものの、介護度が低いほど割合は低くなっている。要介護 1 の人では 4 割台、要介護 2 の人では 5 割台であり、それぞれ 22.9%、18.0%が「軽く認定された」と回答している。

(6) 要介護度が軽い・重いと思う理由(問4付問)

軽い・重いと回答した方は、そのように思う理由をご記入ください。

① 要介護度が軽いと思う理由

図表 3-12 要介護度が軽いと思う理由

<p>要介護 1 54 件</p>	<ul style="list-style-type: none">■心身の状態から 42 件<ul style="list-style-type: none">・ペースメーカー、人工透析などで歩行が非常に困難であり、病院の通院に非常に困っている状態です。・糖尿病のため体全体が病んでいるが、話し方が元気なので良く思われてしまう。・1人で外出が出来ない。・お風呂に1人で入れない。・食事を作る事が出来ない。・歩行困難、パーキンソン。・今現在5m位歩くのがやっと。通院などは車イスを利用している。・2度に亘る人工股骨手術による日常生活の不自由さを理解して頂けない。・足が悪いのもっと重症ではないかと思っている。・自分でトイレに行かれない。パーキンソンのため歩行がうまく出来ない。・足が動かず、車椅子を使用しなくてはならないため。・自力での歩行が少しずつ困難になっている。トイレが間に合わない事が多くなってきている。・目がかかなり見えないが、それが認定に反映されていない。・家の中をつたい歩きは出来るが、転ぶことが多くひとりで立ち上がれない。またトイレの場所が分からなくなることが少なくない。・年毎に疾病症状が進み、重くなりつつあるのに、前回より軽い認定で不都合が起こった。■認知症が反映されていない 4 件<ul style="list-style-type: none">・かなりの認知症であるにもかかわらず、身体的な障害がないとの理由で認定が低い。・身体的にはほぼ自立されているが、認知面で考慮されていない。失禁も多く、ひとりごとでも日中夜間問わず激しいため。■認定後に状態が悪くなった 3 件<ul style="list-style-type: none">・認定時には適切であったかもしれないが、その後加齢や骨折による入院などで、現在は適切でないと思い、見直しを申請中。
-----------------------	--

<p>要介護 1 54 件</p>	<p>■その他 5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる事の制限が多いのに介護度が低い。自分より自立できている人の方が介護度が高いのはおかしい。 ・本人に直接聞き、状態を判断しているので、実際には全然出来ていないことも多い。もう少し認定する時に、介護をしている家族の話を聞いてほしい。
<p>要介護 2 43 件</p>	<p>■心身の状態から 26 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとりで出来ない事が多い。 ・1人では歩けない、助けが必要、トイレも介助が必要。 ・糖尿病・高血圧症・骨粗しょう症・重度の白内障などがあり、認知症も改善していないから。 ・全然目がみえない状況なので。 ・身体が不自由、全部介護が必要。話も声が出にくく、会話がむずかしい。 ・食事、お風呂、着替え等、一切手助けがないと出来ない。 ・トイレ・入浴と、すべてに介護を必要としているのに軽すぎる。 ・かなり認知症がすすんでいる。1人では歩けない、トイレにも行けない。 ・失語症が全然判定に入っていない。 <p>■介護度が下がったため 5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状態が同じなのに介護度が軽くなった。 ・前回と状況が変わっていないのに介護度が1軽くなった。 <p>■体調のよい日に調査を受けたため 5 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査員との面談の際、状況が良いタイミングに判断されてしまったため。 ・本人確認の時、私から見てもとても調子が良く頭もとてもはっきりしていた様に思います。 <p>■認定後に状態が悪くなった 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護認定時の面談調査時点では適切であったと思うが、調査後急激に状態が悪化したので、現在再認定を行ったところです。 ・認定の時と現在では体の具合が違います。重くなっていると思います。 <p>■認知症が反映されていない 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症でありながら、その事が介護度に出ていない。 <p>■その他 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知人に要介護 3 の人がいるが、どう見ても本人より軽く思える。

<p>要介護 3 21 件</p>	<p>■心身の状態から 11 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝たきり状態になっている。 ・右半身がマヒしているのに、軽く認定。 ・現在、歩く事もできずにいるため。 ・全盲のため、介護が常に付かないと何も出来ない。 ・出来ることは起こしてもらって食べることが、かろうじて出来るだけ。あとは何もできない。 <p>■認知症が反映されていない 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症が重いため、作業を物理的に出来る、動けるようにみえても、作業内容は全く正しく行われぬ。しかし判断基準では、”出来る”とされてしまう。 <p>■体調のよい日に調査を受けたため 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査のときは体調が良い時なので、いつもはもっと悪いので軽く認定された。 <p>■認定後に状態が悪くなった 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定時では適切であったと思われるが現在は異なる。 <p>■その他 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定の仕組みを改善すべき点があると感じる。対象となる本人への面談が一面的で、適切さを感じない。対象者の生活の背後をもっと観るべきである。
<p>要介護 4 7 件</p>	<p>■心身の状態から 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむつをして、ベッドに2か月半ねたきり。 ・バルーンをつけている時の現在と、まだそのような状況に至っていない時は同じ介護度であることが不適切である。 <p>■その他 4 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分ひとりでできることが何ひとつないので、軽くなったが、本人の状況が改善されたわけではない。 ・日々健康状態や病状が異なるので、認定の基準に柔軟性がほしい。

② 要介護度が重いと思う理由

図表 3-13 要介護度が重いと思う理由

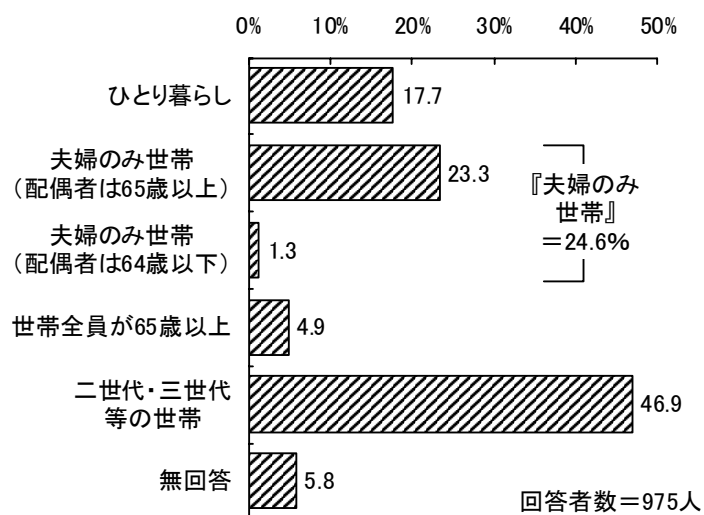
<p>要介護 5 1 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・波があるので良く分らないが、介護 2 から介護 5 になったので、ちょっとショックはあります。
----------------------	--

2. 在宅の要介護高齢者の暮らしの状況

(1) 家族形態(問8)

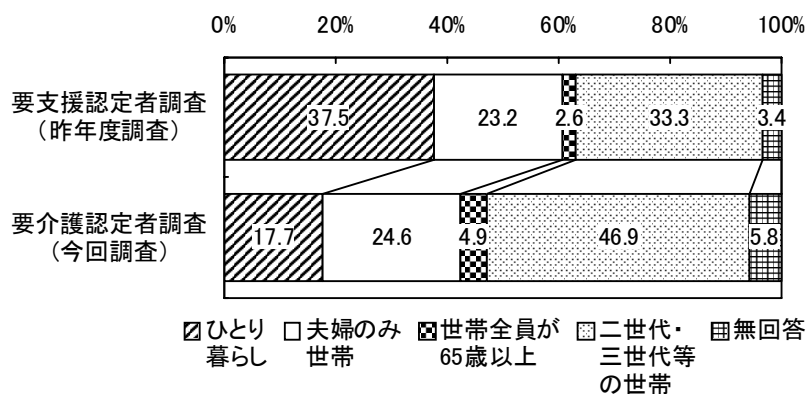
あなた(あて名のご本人)の現在の家族構成は、次のどれですか。(1つに○)

図表 3-14 家族形態(単数回答)



※『夫婦のみ世帯』=「夫婦のみ世帯(配偶者は65歳以上)」+「夫婦のみ世帯(配偶者は64歳以下)」

図表 3-15 家族形態(要支援認定者調査との比較)



在宅の要介護高齢者の家族形態は、65歳未満の人との同居等の世帯である「二世帯・三世帯等の世帯」が46.9%ともっとも高い割合を占める。次いで、「夫婦のみ世帯(配偶者は65歳以上)」23.3%、「ひとり暮らし」17.7%と続いており、高齢者の生活実態・意識調査(17ページ参照)の結果と大きく異なる。

「夫婦のみ世帯(配偶者は65歳以上)」「夫婦のみ世帯(配偶者は64歳以下)」を合わせた『夫婦のみ世帯』は24.6%となっている。

平成 18 年度に実施した要支援認定者調査結果と比較すると、要介護認定者調査回答者は要支援認定者調査回答者に比べて、「ひとり暮らし」の割合が低く、「二世帯・三世帯等の世帯」の割合が高いことがわかる。

図表 3-16 家族形態

		回答者数(人)	ひとり暮らし	夫婦のみ世帯(配偶者は65歳以上)	夫婦のみ世帯(配偶者は64歳以下)	世帯全員が65歳以上	二世帯・三世帯等の世帯	無回答	『夫婦のみ世帯』
全 体		975	17.7	23.3	1.3	4.9	46.9	5.8	24.6
男女別	男性	340	14.4	40.0	2.6	1.5	34.1	7.4	42.6
	女性	622	19.8	14.3	0.6	6.6	53.9	4.8	14.9
年齢別	65～74 歳	177	12.4	35.6	5.1	4.0	36.7	6.2	40.7
	75～79 歳	150	15.3	43.3	0.0	1.3	34.7	5.3	43.3
	80～84 歳	210	20.5	23.8	0.0	1.0	47.1	7.6	23.8
	85～89 歳	215	21.9	15.8	1.4	1.9	53.5	5.6	17.2
	90 歳以上	193	18.7	6.2	0.5	16.6	54.4	3.6	6.7
要介護度別	要介護 1	262	30.2	21.4	0.8	3.8	38.2	5.7	22.2
	要介護 2	212	13.2	26.9	2.8	4.7	47.2	5.2	29.7
	要介護 3	174	15.5	25.9	2.3	6.3	45.4	4.6	28.2
	要介護 4	130	12.3	25.4	0.8	3.1	52.3	6.2	26.2
	要介護 5	111	14.4	12.6	0.0	9.0	60.4	3.6	12.6
	わからない	48	6.3	20.8	0.0	2.1	60.4	10.4	20.8

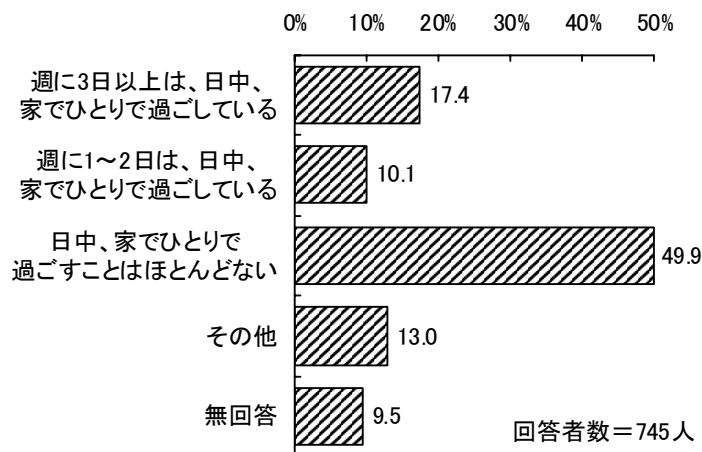
※『夫婦のみ世帯』＝「夫婦のみ世帯(配偶者は65歳以上)」＋「夫婦のみ世帯(配偶者は64歳以下)」

要介護度別にみると、要介護 1 の人は「二世帯・三世帯等の世帯」38.2%に次いで、30.2%が「ひとり暮らし」であり、要介護 2～5 の人に比べて「ひとり暮らし」の割合が高い。要介護 2・3 の人は「二世帯・三世帯等の世帯」が 4 割台、要介護 4 の人では 5 割台、要介護 5 の人では約 6 割と、介護度が高くなるほど「二世帯・三世帯等の世帯」の占める割合が高くなっている。

(2) 日中独居の状況(問8付問)

あなた(あて名のご本人)は、日中、家でひとりで過ごすことがどのくらいありますか。
(1つに○)

図表 3-17 日中独居の状況(単数回答)



在宅の要介護高齢者の日中独居の状況(ひとり暮らしの人以外)をみると、「日中、家でひとりで過ごすことはほとんどない」は49.9%と約半数である。

「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」17.4%、「週に1~2日は、日中、家でひとりで過ごしている」10.1%と、3割弱は週に1日以上、家でひとりで過ごすことがあると回答しており、高齢者の生活実態・意識調査の結果(21ページ参照)に比べて高い割合となっている。

図表 3-18 日中独居の状況

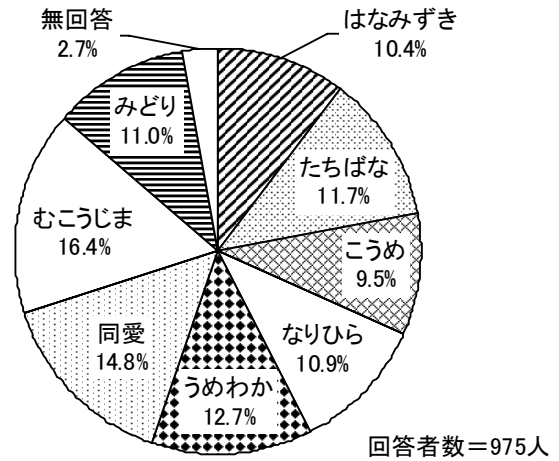
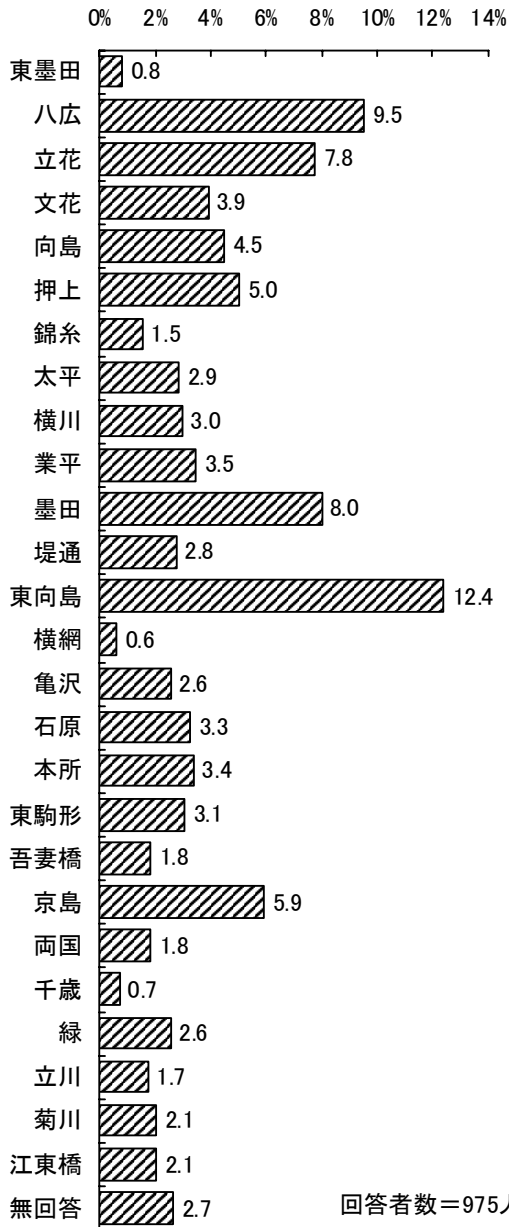
		回答者数(人)	週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている	週に1～2日は、日中、家でひとりで過ごしている	週にほとんどない	その他	無回答
全 体		745	17.4	10.1	49.9	13.0	9.5
男女別	男性	266	15.4	9.4	54.1	11.3	9.8
	女性	469	18.6	10.7	47.3	14.1	9.4
年齢別	65～74 歳	144	18.8	11.1	48.6	13.2	8.3
	75～79 歳	119	17.6	10.1	48.7	15.1	8.4
	80～84 歳	151	14.6	8.6	55.6	9.9	11.3
	85～89 歳	156	18.6	14.7	46.8	12.8	7.1
	90 歳以上	150	17.3	7.3	50.0	14.7	10.7
要介護度別	要介護 1	168	25.0	13.7	42.3	10.1	8.9
	要介護 2	173	19.7	9.2	49.1	13.3	8.7
	要介護 3	139	9.4	11.5	55.4	12.9	10.8
	要介護 4	106	12.3	7.5	56.6	15.1	8.5
	要介護 5	91	15.4	4.4	51.6	18.7	9.9
	わからない	40	20.0	15.0	42.5	12.5	10.0
家族形態別	夫婦のみ世帯	240	13.8	10.8	55.8	9.6	10.0
	世帯全員が65歳以上	48	27.1	6.3	47.9	6.3	12.5
	二世帯・三世帯等の世帯	457	18.4	10.1	47.0	15.5	9.0

要介護度別にみると、「週に3日以上は、日中、家でひとりで過ごしている」割合は、要介護1の人の25.0%、要介護2の人の19.7%と、要介護3～5の人に比べて高くなっている。

(3) 居住地域(問7)

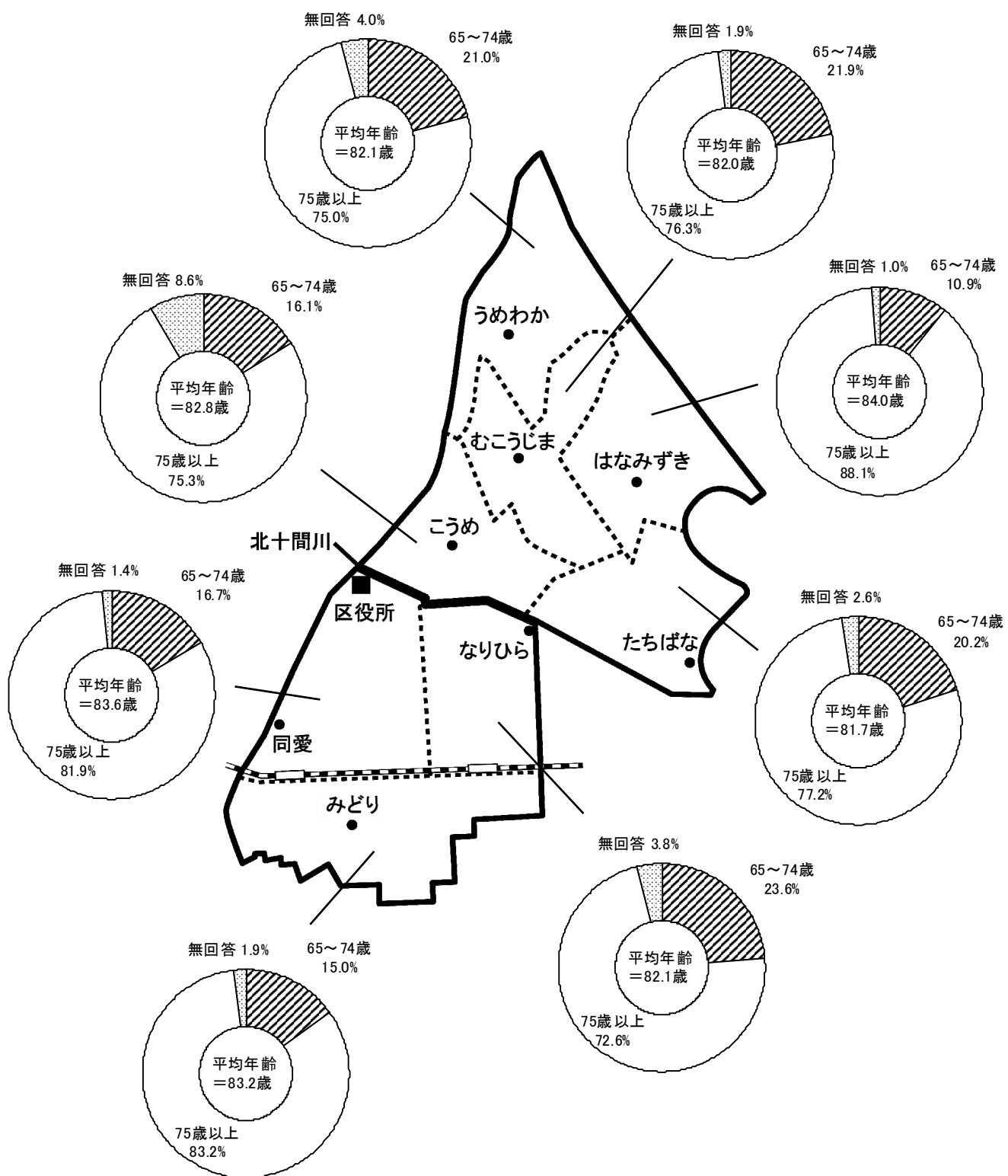
あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいはどこですか。

図表 3-19 居住地域(各単数回答)



在宅の要介護高齢者の8つの地域包括支援センター管内別の居住地域は、「むこうじま」16.4%、「同愛」14.8%、「うめわか」12.7%、「たちばな」11.7%、「みどり」11.0%、「なりひら」10.9%、「はなみずき」10.4%、「こうめ」9.5%の順となっている。

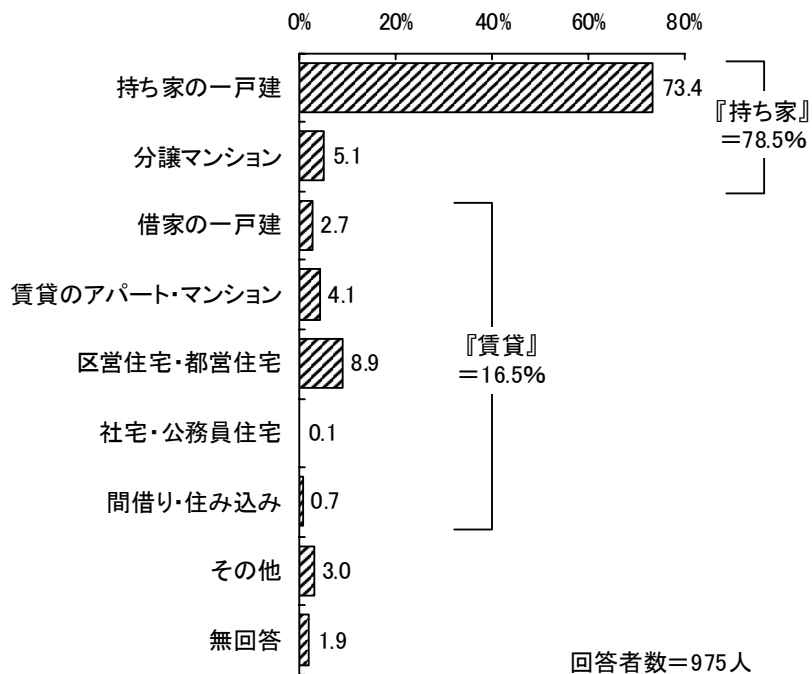
図表 3-20 居住地域別にみた回答者の年齢



(4)住宅形態(問6)

あなた(あて名のご本人)が現在お住まいの住宅は、次のどれですか。(1つに○)

図表 3-21 住宅形態(単数回答)



※『持ち家』 = 「持ち家の一戸建」 + 「分譲マンション」

※『賃貸』 = 「借家の一戸建」 + 「賃貸のアパート・マンション」 + 「区営住宅・都営住宅」 + 「社宅・公務員住宅」 + 「間借り・住み込み」

現在の生活場所が自宅またはその他である在宅の要介護高齢者の住宅形態は、「持ち家の一戸建」が73.4%と7割台を占め、高齢者の生活実態・意識調査の結果(15ページ参照)に比べて、持ち家の一戸建居住者の割合が高い。次いで、「区営住宅・都営住宅」が8.9%で続く。

「持ち家の一戸建」「分譲マンション」を合わせた『持ち家』の割合は、78.5%と8割近い。

図表 3-22 住宅形態

		回答者数(人)	持ち家の一戸建	分譲マンション	借家の一戸建	賃貸のアパート・マンション	区営住宅・都営住宅	社宅・公務員住宅	間借り・住み込み	その他	無回答	『持ち家』	『賃貸』
全 体		975	73.4	5.1	2.7	4.1	8.9	0.1	0.7	3.0	1.9	78.5	16.5
男女別	男性	340	71.5	4.7	2.1	5.0	12.1	0.0	0.9	2.1	1.8	76.2	20.1
	女性	622	75.1	5.5	3.1	3.7	7.1	0.2	0.6	3.5	1.3	80.6	14.7
年齢別	65～74 歳	177	60.5	7.3	4.5	5.6	16.4	0.0	1.1	3.4	1.1	67.8	27.6
	75～79 歳	150	72.0	4.7	2.7	5.3	11.3	0.0	0.7	3.3	0.0	76.7	20.0
	80～84 歳	210	75.7	3.8	1.4	2.9	9.5	0.0	0.5	3.3	2.9	79.5	14.3
	85～89 歳	215	75.8	7.0	3.7	5.1	4.2	0.0	0.9	1.9	1.4	82.8	13.9
	90 歳以上	193	80.3	3.6	1.6	2.6	5.7	0.5	0.5	3.6	1.6	83.9	10.9
要介護度別	要介護 1	262	67.9	3.8	2.7	6.5	13.0	0.0	0.8	5.0	0.4	71.7	23.0
	要介護 2	212	75.5	8.0	3.3	3.3	8.5	0.0	0.0	0.9	0.5	83.5	15.1
	要介護 3	174	75.9	5.7	2.3	2.3	6.9	0.0	1.7	2.9	2.3	81.6	13.2
	要介護 4	130	76.2	5.4	3.1	1.5	10.0	0.8	0.8	0.8	1.5	81.6	16.2
	要介護 5	111	82.0	0.9	0.9	5.4	3.6	0.0	0.0	5.4	1.8	82.9	9.9
	わからない	48	70.8	6.3	6.3	6.3	4.2	0.0	2.1	2.1	2.1	77.1	18.9
家族形態別	ひとり暮らし	173	61.8	5.8	4.6	8.7	13.9	0.0	0.6	4.6	0.0	67.6	27.8
	夫婦のみ世帯	240	70.0	6.3	1.3	4.6	14.6	0.0	0.4	1.7	1.3	76.3	20.9
	世帯全員が 65 歳以上	48	72.9	4.2	2.1	2.1	4.2	0.0	2.1	10.4	2.1	77.1	10.5
	二世帯・三世帯 等の世帯	457	80.3	4.8	2.8	2.4	4.6	0.2	0.4	2.2	2.2	85.1	10.4

※『持ち家』＝「持ち家の一戸建」＋「分譲マンション」

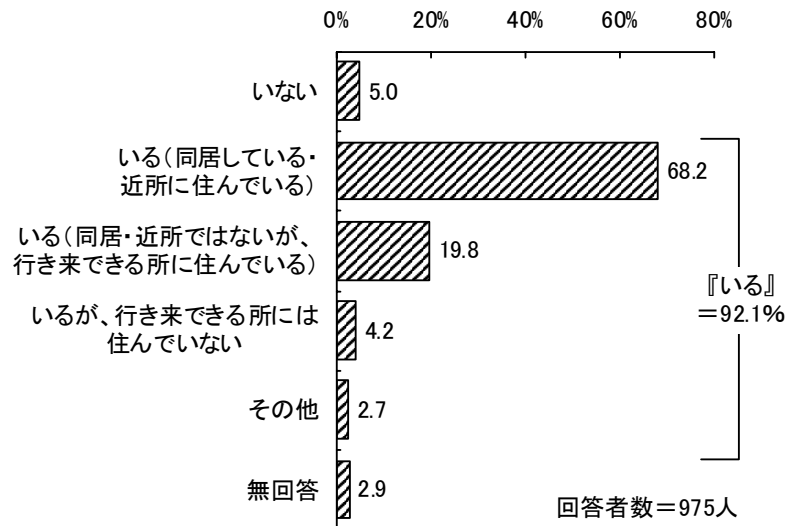
※『賃貸』＝「借家の一戸建」＋「賃貸のアパート・マンション」＋「区営住宅・都営住宅」＋「社宅・公務員住宅」
＋「間借り・住み込み」

要介護度別にみると、「持ち家の一戸建」居住者の割合は、要介護 1 の人の 7 割弱から要介護 5 の人では 8 割強と、介護度が高いほど高くなっている。『持ち家』は、要介護 2～5 の人では 8 割台を占めるのに対し、要介護 1 の人では 7 割強であり、『賃貸』が 2 割台を占める。

(5) 支えてくれる家族や知人の有無(問9)

あなた(あて名のご本人)には、家事や介護などに困った時、相談したい時などに、支えて(助けて)くれる家族・知人等がいますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 3-23 支えてくれる家族や知人の有無(複数回答)



※『いる』=100% - 「いない」 - 「無回答」

支えてくれる家族や知人は「いない」は 5.0%であり、92.1%が『いる』と回答している。

「いる(同居している・近所に住んでいる)」は 68.2%、「いる(同居・近所ではないが、行き来できる所に住んでいる)」は 19.8%、「いるが、行き来できる所には住んでいない」は 4.2%となっている。

図表 3-24 支えてくれる家族や知人の有無

		回答者数(人)	いない	いる(同居している・近所に住んでいる)	いる(同居・近所ではないが、行き来できる所に住んでいる)	いるが、行き来できる所には住んでいない	その他	無回答	『いる』
全 体		975	5.0	68.2	19.8	4.2	2.7	2.9	92.1
男女別	男性	340	7.9	63.5	19.1	4.4	2.4	5.0	87.1
	女性	622	3.4	70.7	20.3	4.2	2.9	1.6	95.0
年齢別	65～74 歳	177	7.9	65.5	16.4	5.6	4.5	2.8	89.3
	75～79 歳	150	6.7	58.0	26.7	6.7	2.7	1.3	92.0
	80～84 歳	210	6.2	69.0	16.2	3.3	2.4	4.8	89.0
	85～89 歳	215	3.7	68.8	23.3	3.3	3.3	2.3	94.0
	90 歳以上	193	0.5	76.7	18.7	3.6	0.5	2.1	97.4
要介護度別	要介護 1	262	5.7	61.5	23.3	5.7	2.7	3.1	91.2
	要介護 2	212	6.1	71.7	17.0	3.8	2.4	0.9	93.0
	要介護 3	174	2.9	65.5	21.8	5.2	4.6	3.4	93.7
	要介護 4	130	3.8	76.2	16.2	1.5	0.8	3.1	93.1
	要介護 5	111	2.7	75.7	19.8	1.8	3.6	2.7	94.6
	わからない	48	10.4	68.8	12.5	4.2	2.1	2.1	87.5
家族形態別	ひとり暮らし	173	8.7	36.4	42.2	11.6	4.0	1.7	89.6
	夫婦のみ世帯	240	7.1	62.5	23.3	3.8	2.5	2.5	90.4
	世帯全員が 65 歳以上	48	4.2	75.0	18.8	2.1	0.0	0.0	95.8
	二世帯・三世帯等の世帯	457	2.8	84.0	11.4	1.8	2.4	0.9	96.3

※『いる』=100%－「いない」－「無回答」

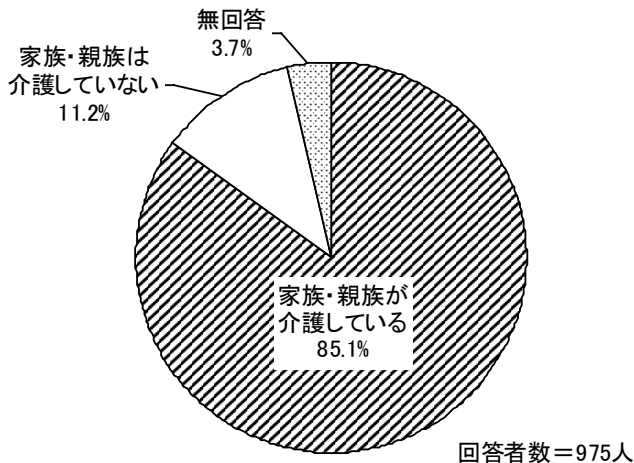
要介護度別にみると、どの介護度の人においても、支えてくれる家族や知人が『いる』人の割合は9割を超えるものの、要介護1・2の人では「いない」が6%前後であり、要介護3～5の人に比べると割合が高くなっている。

3. 家族による介護状況

(1) 家族による介護状況(問10)

現在、ご家族・親族(同居・別居は問わず)は、あて名のご本人を介護していますか。
(1つに○)

図表 3-25 家族による介護状況(単数回答)



在宅の要介護高齢者の家族による介護状況は、「家族・親族が介護している」が85.1%を占める結果となった。

年齢別にみると、年齢層が高くなるほど「家族・親族が介護している」割合が高くなり、65～74歳の7割台から、90歳以上では9割強を占める。

要介護度別にみると、もっとも介護度が低い要介護1の人においても「家族・親族が介護している」は8割強を占めている。

家族形態別にみると、「家族・親族が介護している」割合は、ひとり暮らしの人の6割台、夫婦のみ世帯の8割台、二世帯・三世帯等の世帯の人の9割強となっている。

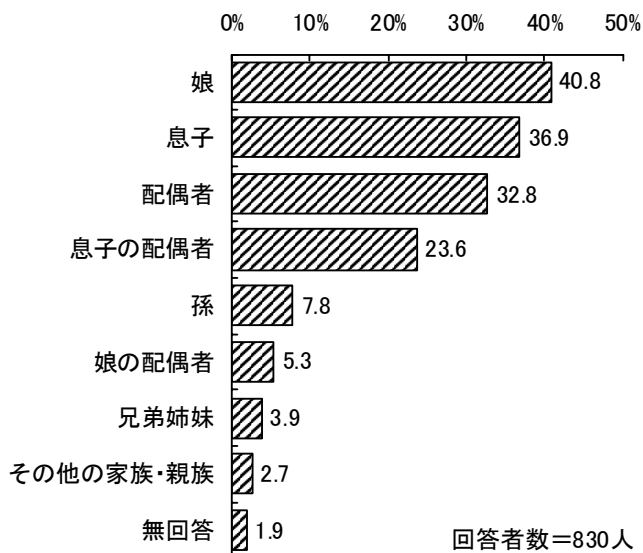
図表 3-26 家族による介護状況

		回答者数(人)	家族・親族が介護している	家族・親族は介護していない	無回答
全 体		975	85.1	11.2	3.7
年 齢 別	65～74 歳	177	77.4	16.4	6.2
	75～79 歳	150	81.3	16.7	2.0
	80～84 歳	210	82.9	12.4	4.8
	85～89 歳	215	89.3	7.4	3.3
	90 歳以上	193	91.2	6.7	2.1
要 介 護 度 別	要介護1	262	83.6	13.4	3.1
	要介護2	212	89.6	8.5	1.9
	要介護3	174	85.6	10.9	3.4
	要介護4	130	91.5	7.7	0.8
	要介護5	111	89.2	9.0	1.8
	わからない	48	58.3	27.1	14.6
家 族 形 態 別	ひとり暮らし	173	67.1	30.1	2.9
	夫婦のみ世帯	240	86.3	10.8	2.9
	世帯全員が65歳以上	48	93.8	6.3	0.0
	二世帯・三世帯等の世帯	457	91.9	5.5	2.6

(2) 介護者(問10付問)

介護しているご家族・親族は誰ですか。(あてはまる人すべてに○)

図表 3-27 介護者(複数回答)



家族・親族が介護している場合の介護者は、「娘」40.8%がもっとも高く、「息子」36.9%「配偶者」32.8%、「息子の配偶者」23.6%の順となっている。

年齢別にみると、65～79歳の人では「配偶者」、80歳以上の人では「娘」の割合が、それぞれもっとも高い。

家族形態別にみると、夫婦のみ世帯の人では、85.0%が「配偶者」をあげている。

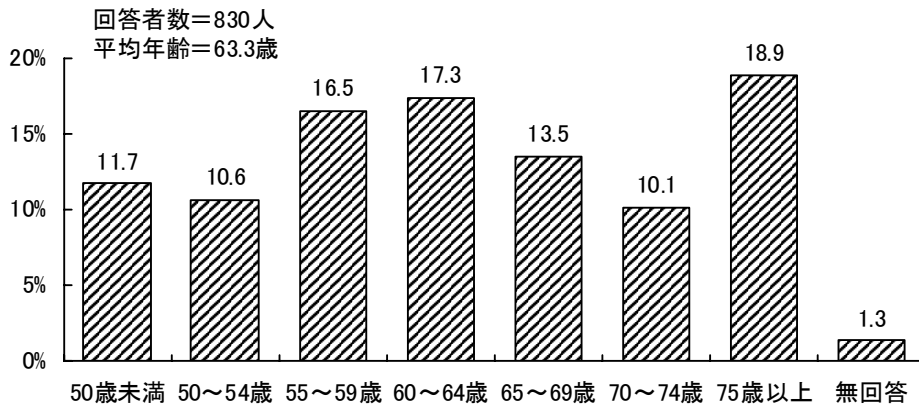
図表 3-28 介護者

		回答者数(人)	娘	息子	配偶者	息子の配偶者	孫	娘の配偶者	兄弟姉妹	親族 その他の家族・	無回答
全体		830	40.8	36.9	32.8	23.6	7.8	5.3	3.9	2.7	1.9
年齢別	65～74歳	137	24.8	20.4	65.7	8.8	4.4	2.2	8.8	2.9	2.2
	75～79歳	122	36.1	28.7	59.0	12.3	1.6	2.5	2.5	0.8	1.6
	80～84歳	174	43.1	39.7	31.0	24.1	7.5	8.0	2.9	1.7	3.4
	85～89歳	192	48.4	40.1	20.3	28.6	9.4	7.3	4.7	3.1	1.0
	90歳以上	176	48.9	46.0	6.8	36.4	13.1	5.7	1.7	3.4	1.1
要介護度別	要介護1	219	38.8	39.7	28.3	24.2	5.9	3.7	4.6	2.7	0.9
	要介護2	190	41.6	31.6	35.8	22.6	5.8	4.7	1.6	3.2	2.6
	要介護3	149	43.6	40.9	39.6	21.5	10.7	6.0	2.7	1.3	1.3
	要介護4	119	37.0	28.6	36.1	23.5	11.8	8.4	7.6	3.4	2.5
	要介護5	99	44.4	45.5	26.3	23.2	7.1	6.1	3.0	4.0	2.0
	わからない	28	28.6	39.3	28.6	35.7	7.1	3.6	7.1	0.0	3.6
家族形態別	ひとり暮らし	116	50.0	43.1	0.0	32.8	7.8	9.5	8.6	3.4	1.7
	夫婦のみ世帯	207	27.1	15.0	85.0	10.6	2.4	3.4	0.0	0.5	2.4
	世帯全員が65歳以上	45	44.4	46.7	2.2	20.0	0.0	2.2	13.3	6.7	2.2
	二世帯・三世帯等の世帯	420	46.4	44.0	18.6	28.3	12.1	6.0	3.1	3.3	1.7

(3) 主な介護者の年齢(問10付問)

介護している主なご家族・親族は、現在、何歳ですか。

図表 3-29 主な介護者の年齢(単数回答)

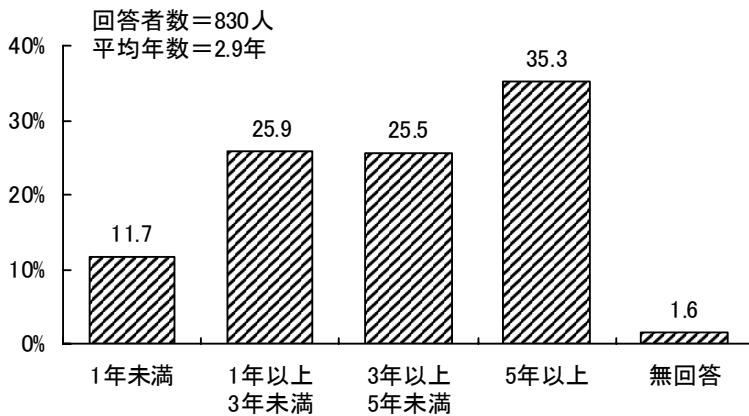


介護している主な家族・親族の年齢は、「75歳以上」18.9%がもっとも高い。65歳以上の高齢者が42.5%を占め、平均年齢は63.3歳となっている。

(4) 介護期間(問10付問)

あて名のご本人は、介護が必要になってから、どのくらいたちますか。(1つに○)

図表 3-30 介護期間(単数回答)



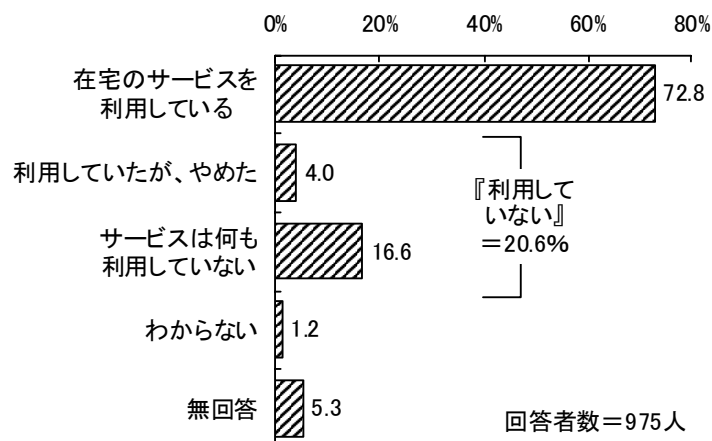
介護期間は、「5年以上」が35.3%を占め、「1年以上3年未満」25.9%、「3年以上5年未満」25.5%の順となっている。

4. 介護保険サービスの利用状況と評価

(1) 介護保険サービスの利用状況(問11)

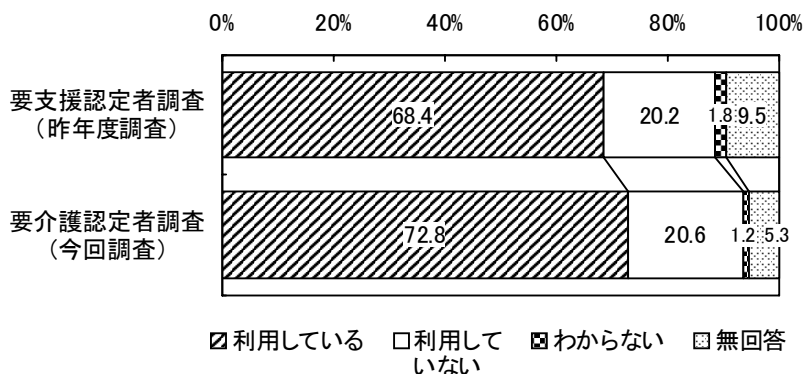
あなた(あて名のご本人)は現在、在宅の介護保険サービスを実際に利用していますか。
(1つに○)

図表 3-31 介護保険サービスの利用状況(単数回答)



※『利用していない』=「利用していたが、やめた」+「サービスは何も利用していない」

図表 3-32 介護保険サービスの利用状況(要支援認定者調査との比較)



在宅の要介護高齢者における介護保険サービスの利用状況を見ると、「在宅のサービスを利用している」が72.8%を占める。

「利用していたが、やめた」4.0%、「サービスは何も利用していない」16.6%を合わせた『利用していない』は約2割となっている。

平成18年度に実施した要支援認定者調査結果と比較すると、「利用している」人の割合は、要支援認定者調査の68.4%に対して、要介護認定者調査では72.8%と、要介護認定者調査回答者に高くなっている。

図表 3-33 介護保険サービスの利用状況

		回答者数(人)	在宅のサービスを利用している	利用していたが、やめた	サービスは何も利用していない	わからない	無回答	『利用していない』
全 体		975	72.8	4.0	16.6	1.2	5.3	20.6
年齢別	65～74 歳	177	64.4	5.6	20.3	2.3	7.3	25.9
	75～79 歳	150	67.3	4.0	20.0	2.0	6.7	24.0
	80～84 歳	210	74.8	1.9	16.2	1.0	6.2	18.1
	85～89 歳	215	78.1	3.3	13.5	0.9	4.2	16.8
	90 歳以上	193	77.2	6.2	13.0	0.0	3.6	19.2
要介護度別	要介護 1	262	71.4	4.6	17.6	1.9	4.6	22.2
	要介護 2	212	76.9	2.4	15.1	0.9	4.7	17.5
	要介護 3	174	81.0	4.6	8.6	2.3	3.4	13.2
	要介護 4	130	86.9	3.1	6.9	0.0	3.1	10.0
	要介護 5	111	81.1	5.4	8.1	0.9	4.5	13.5
	わからない	48	4.2	4.2	70.8	0.0	20.8	75.0
家族形態別	ひとり暮らし	173	85.5	1.7	8.1	1.2	3.5	9.8
	夫婦のみ世帯	240	67.1	5.8	18.8	0.8	7.5	24.6
	世帯全員が 65 歳以上	48	79.2	4.2	16.7	0.0	0.0	20.9
	二世帯・三世帯等の世帯	457	72.4	4.2	18.6	1.3	3.5	22.8
家族介護状況別	家族・親族が介護している	830	76.3	3.6	15.2	1.2	3.7	18.8
	家族・親族は介護していない	109	60.6	5.5	23.9	1.8	8.3	29.4

※『利用していない』 = 「利用していたが、やめた」 + 「サービスは何も利用していない」

要介護度別にみると、「在宅のサービスを利用している」割合は、要介護 1・2 の人では 7 割台、要介護 3～5 の人では 8 割台となっている。

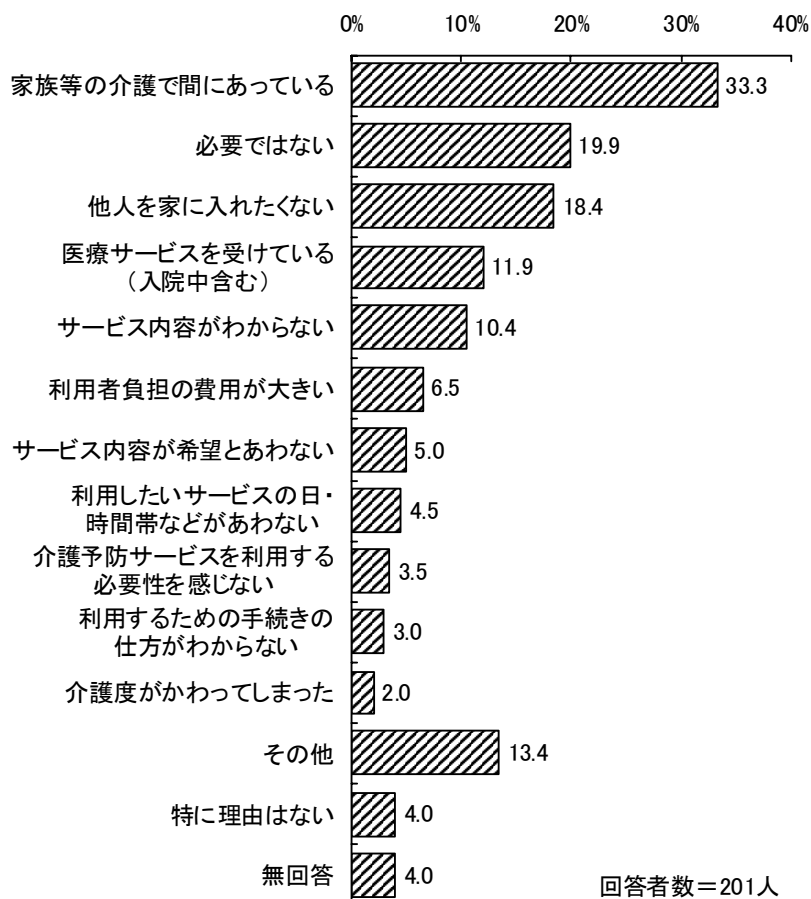
家族形態別にみると、ひとり暮らしの人の 85.5% が「在宅のサービスを利用している」一方、夫婦のみ世帯の人では 67.1%、二世帯・三世帯等の世帯の人では 72.4% となっている。

家族による介護状況別にみると、「在宅のサービスを利用している」割合は、家族・親族が介護している人の 76.3%、家族・親族は介護していない人では 60.6% と、家族等の介護を受けている人に高くなっている。

(2) サービスを利用していない理由(問11付問)

サービスを利用していない方にうかがいます。その理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表 3-34 サービスを利用していない理由(複数回答)



サービスを『利用していない』人の利用していない理由としては、「家族等の介護で間にある」33.3%がもっとも高く、次いで「必要ではない」19.9%、「他人を家に入れたくない」18.4%、「医療サービスを受けている(入院中含む)」11.9%、「サービス内容がわからない」10.4%の順となっている。

図表 3-35 サービスを利用していない理由

		回答者数(人)	家族等の介護で間にあつて いる	必要ではない	他人を家に入れたくない	医療サービスを受けている (入院中含む)	サービス内容がわからない	利用者負担の費用が大きい	ない	サービス内容が希望とあわ ない	時間帯などがあわない	利用したいサービスの日・ 時間帯などがあわない	介護予防サービスを利用 する必要性を感じない	仕方がわからない	介護度がかわってしまった
全 体		201	33.3	19.9	18.4	11.9	10.4	6.5	5.0	4.5	3.5	3.0	2.0		
年齢別	65～74 歳	46	21.7	26.1	13.0	13.0	13.0	4.3	6.5	4.3	0.0	0.0	2.2		
	75～79 歳	36	25.0	22.2	16.7	11.1	11.1	8.3	2.8	2.8	5.6	5.6	5.6		
	80～84 歳	38	28.9	26.3	15.8	10.5	13.2	13.2	5.3	2.6	5.3	5.3	0.0		
	85～89 歳	36	38.9	11.1	22.2	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	8.3	2.8	2.8		
	90 歳以上	37	54.1	13.5	24.3	10.8	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0		
要介護度別	要介護 1	58	27.6	17.2	25.9	6.9	15.5	5.2	5.2	5.2	3.4	0.0	5.2		
	要介護 2	37	35.1	13.5	21.6	8.1	10.8	8.1	5.4	2.7	2.7	2.7	0.0		
	要介護 3	23	52.2	4.3	17.4	4.3	4.3	8.7	8.7	17.4	0.0	4.3	0.0		
	要介護 4	13	15.4	0.0	15.4	46.2	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0		
	要介護 5	15	13.3	6.7	13.3	53.3	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	わからない	36	33.3	47.2	11.1	2.8	8.3	2.8	0.0	2.8	8.3	8.3	2.8		
家族形態別	ひとり暮らし	17	5.9	29.4	23.5	29.4	23.5	17.6	11.8	11.8	17.6	5.9	0.0		
	夫婦のみ世帯	59	22.0	20.3	18.6	10.2	10.2	8.5	6.8	5.1	1.7	0.0	3.4		
	世帯全員が 65 歳以上	10	70.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0		
	二世帯・三世帯 等の世帯	104	39.4	20.2	17.3	10.6	9.6	4.8	3.8	3.8	1.9	2.9	1.9		
家族介護 状況別	家族・親族が 介護している	156	41.7	13.5	19.9	10.9	10.3	7.1	5.8	3.8	1.9	1.9	2.6		
	家族・親族は 介護していない	32	0.0	37.5	15.6	21.9	15.6	6.3	3.1	9.4	9.4	9.4	0.0		

※「その他」「特に理由はない」「無回答」は、掲載を省略

要介護度別にみると、要介護 1～3 の人では「家族等の介護で間にあつている」、要介護 4・5 の人では「医療サービスを受けている（入院中含む）」が、それぞれサービスを利用していない理由の第 1 位となっている。

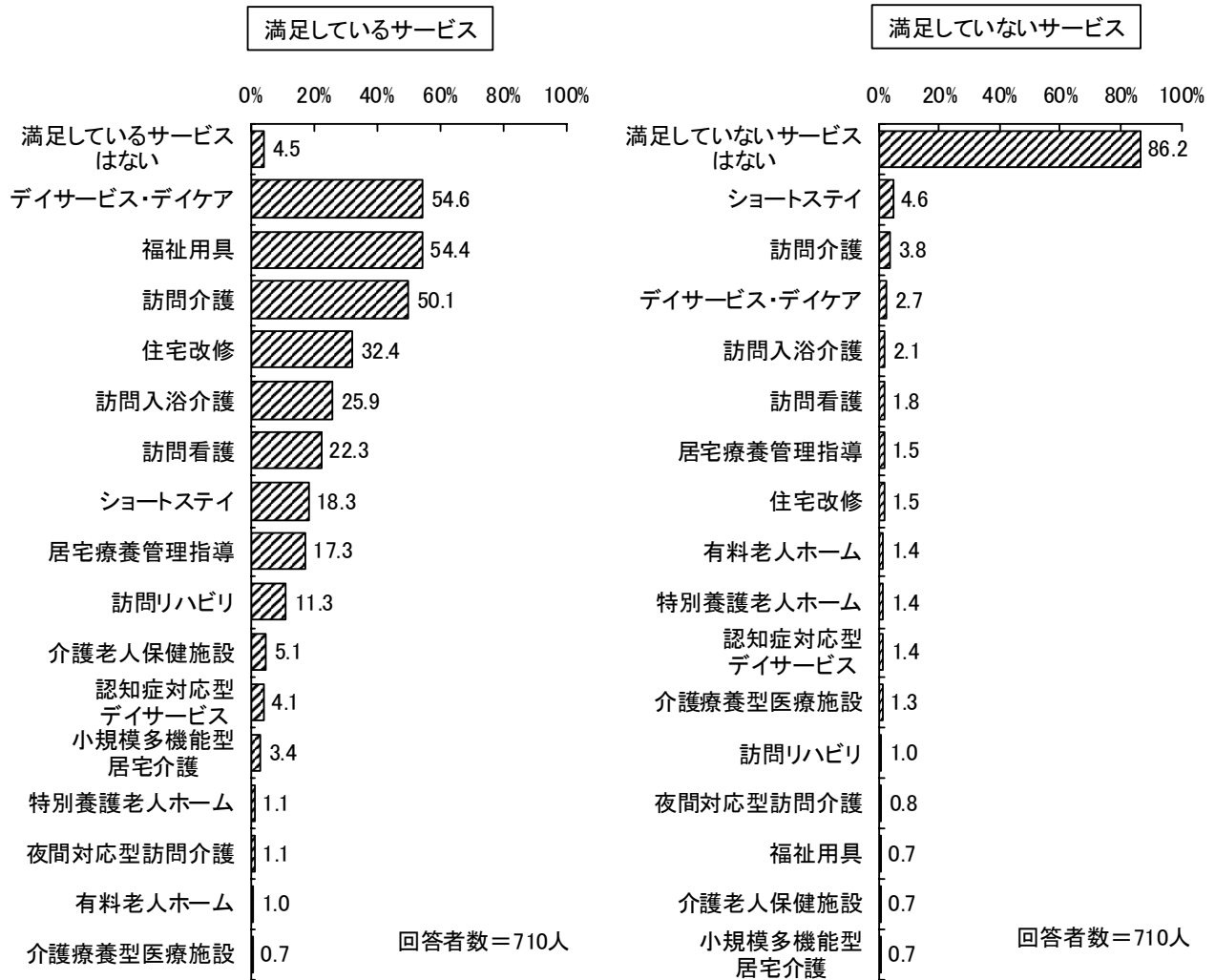
家族形態別にみると、ひとり暮らしの人では「必要ではない」「医療サービスを受けている（入院中含む）」、夫婦のみ世帯、世帯全員が 65 歳以上及び二世帯・三世帯等の世帯の人では「家族等の介護で間にあつている」が、それぞれ第 1 位にあげられている。

家族による介護状況別にみると、家族・親族が介護している人では「家族等の介護で間にあつている」がもっとも高い。家族・親族は介護していない人では「必要ではない」に次いで、「医療サービスを受けている（入院中含む）」となっている。

(3) 介護保険サービスの満足度(問12)

介護保険サービスの内容、提供方法、時間・回数、事業者の対応等について、満足しているサービスには○、満足していないサービスには×を付け、その理由をご記入ください。

図表 3-36 介護保険サービスの満足度(各複数回答)



在宅のサービスを利用している人が満足しているサービスの上位3位は、「デイサービス・デイケア」「福祉用具」「訪問介護」であり、これらはいずれも5割台が満足していると評価している。次いで、「住宅改修」が3割台、「訪問入浴介護」「訪問看護」が2割台で続いている。

反対に、満足していないサービスについては、「満足していないサービスはない」が86.2%を占める。満足していないサービスの上位3位は、「ショートステイ」4.6%、「訪問介護」3.8%、「デイサービス・デイケア」2.7%となっている。

図表 3-37 満足しているサービス(上位 5 位表)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
要介護度別	要介護 1 (187 人)	デイサービス・ デイケア 55.1%	訪問介護 52.4%	福祉用具 33.2%	住宅改修 25.1%	訪問入浴介護 15.0%
	要介護 2 (163 人)	デイサービス・ デイケア 58.9%	福祉用具 50.9%	訪問介護 46.6%	住宅改修 28.2%	ショートステイ 17.8%
	要介護 3 (141 人)	デイサービス・ デイケア 64.5%	福祉用具 61.0%	訪問介護 42.6%	住宅改修 38.3%	訪問入浴介護、 ショートステイ 各 17.7%
	要介護 4 (113 人)	福祉用具 71.7%	デイサービス・ デイケア 54.9%	訪問介護 53.1%	訪問入浴介護 43.4%	訪問看護、 住宅改修 各 38.9%
	要介護 5 (90 人)	福祉用具 72.2%	訪問看護 63.3%	訪問介護 61.1%	訪問入浴介護 60.0%	居宅療養管理 指導 56.7%

※要介護度別の「わからない」は、掲載を省略

要介護度別にみると、要介護 1~4 の人における満足しているサービスの上位 3 位は、「デイサービス・デイケア」「訪問介護」「福祉用具」となっている。

介護度が高くなるほど「福祉用具」「訪問看護」「訪問入浴介護」「居宅療養管理指導」に満足している人の割合が増加しており、要介護 5 の人では「福祉用具」「訪問看護」「訪問介護」「訪問入浴介護」「居宅療養管理指導」が上位 5 位であり、いずれも半数以上の人が満足していると回答している。

図表 3-38 満足していないサービス(上位 3 位表)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	満足していないサービスはない
要介護度別	要介護 1 (187 人)	訪問介護 2.7%	デイサービス・デイケア 2.1%	訪問看護、 ショートステイ 各 1.6%	90.4%
	要介護 2 (163 人)	ショートステイ 4.9%	デイサービス・デイケア 3.1%	訪問入浴介護 1.8%	89.0%
	要介護 3 (141 人)	ショートステイ 7.8%	デイサービス・デイケア 5.0%	訪問介護 4.3%	83.0%
	要介護 4 (113 人)	訪問介護 5.3%	訪問入浴介護、ショートステイ、 住宅改修 各 4.4%		84.1%
	要介護 5 (90 人)	訪問介護 7.8%	ショートステイ 6.7%	訪問看護、介護療養型 医療施設 各 4.4%	78.9%

※要介護度別の「わからない」は、掲載を省略

要介護度別にみると、要介護 1・4・5 の人では「訪問介護」、要介護 2・3 の人では「ショートステイ」が、それぞれ満足していないサービスの第 1 位となっている。

図表 3-39 サービスに満足していない理由

<p>ショートステイ 23 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートステイは毎月の電話の申込が大変です。改善を希望します。 ・ 朝から頑張っているのに通じない。通じた時にはキャンセル待ちでかなり悲しい。 ・ 送迎がない（デイサービスと同じでない）。 ・ ショートステイは必要な時、3～4 日前で緊急対応してほしい。 ・ ショートステイは、車椅子に 1 日乗っているだけ。リハビリはないので、苦痛に感じている。 ・ 短期間という事で、行っている間のプログラムが何もなく、ほとんど寝たままが多いので、入所している方のように何かやる事、自分でできない人にはやらせてくれる事を増やしてほしいと思います。 ・ 自宅と全く違う環境にとまどいがかかなりあり、ステイ明けに迎えに行った時に本人の病状が進んでいる様に思われた。特に、下着の持込禁止の所では、本人の自尊心が傷付いた様だ。 ・ スタッフが少なく、ケアサービスのクオリティがやや不足。1 日中ただ部屋にいただけなので、デイサービスのような仲間との触れ合いがない。
<p>訪問介護 23 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の雑な方、無言で介護する方が、時々おられる。 ・ 予定の日に、来ていただけない事があった。 ・ 訪問介護の 1 日の利用時間を増やしたいが、限度額を超えてしまうので困っています。18 時以降の利用は金額が上がるので、使えなくて困っています。 ・ あまり、思ったようにやってもらえない。 ・ 介護員の食品に対しての、知識・管理・衛生面での意識が低い。 ・ 日中家の内に居るので散歩等の訪問介護を希望したが、買物以外のことはできないと断られた。 ・ 訪問介護が急に回数と時間を減らされてしまった。なぜ？ ・ 介護員によりやってくれることとやらないことがまちまち。
<p>デイサービス・ デイケア 17 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービスは曜日によって行く時間が短いので（午前 11 時頃）、時間をもう少し長くして頂くと助かります。 ・ こちらがお願いして、引き受けてくれた事をやってくれない事がある。 ・ 送迎の時間がまちまち。 ・ デイサービスはあまり行きたくない気分の日もあるため。 ・ 職員の手が足りない。年間の方針計画には「少し歩行で移動を」とあげているのに、見守りができないからか、車椅子に乗ったまま過ごす。 ・ 本人がいやがるので、1 年程でやめました。

訪問入浴介護 8件	<ul style="list-style-type: none"> ・点数が高いので、多数利用できない。 ・畳の上にお湯をこぼしそうになったり、近所の外の道路の前に水をたくさんながしたり、自動車を前の家の入口につけて止められたりしたため、苦情がきました。 ・来てくれる時間が一定でなく、こちらの用事が出来なくなってしまうため。
訪問看護 6件	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症のケアが十分でない。訪問してくる看護師さんによって対処が違う。 ・訪問看護師の診療補助の内容がよくわからない（看護師によりまちまち）。
住宅改修 5件	<ul style="list-style-type: none"> ・一度住宅改修して、支給を受けて感謝していますが、介護度がアップして、さらに改修をしたいのに支給が受けられない。 ・費用の補助が少なかった。
居宅療養管理 指導 4件	<ul style="list-style-type: none"> ・医師が訪問してくれない。 ・往診に入って頂いた時は良く見てくださいましたが、以前より親身でなくなった様な気がしております。
福祉用具 4件	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具を購入の際、1割負担で助かるのですが、原価が高すぎると思います。 ・以前はレンタルできていた福祉用具が、介護度の見直しになってからレンタルできなくなって自費で購入しなければなくなった。もう何年もレンタルしていたのに、今さら購入しても、使える年数、必要なくなった時の事など考えるとどうにかならなかつたものかと思ってしまう。
訪問リハビリ 3件	<ul style="list-style-type: none"> ・保険点数が大きく、受けられない。
特別養護老人 ホーム 2件	<ul style="list-style-type: none"> ・利用したい時に、なかなか入れないから。
介護療養型 医療施設 2件	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか入所できない。
認知症対応型 デイサービス 2件	<ul style="list-style-type: none"> ・おとなしい利用者には、手をかけてくれない事があった。
有料老人 ホーム 1件	<ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホームは高額すぎます。

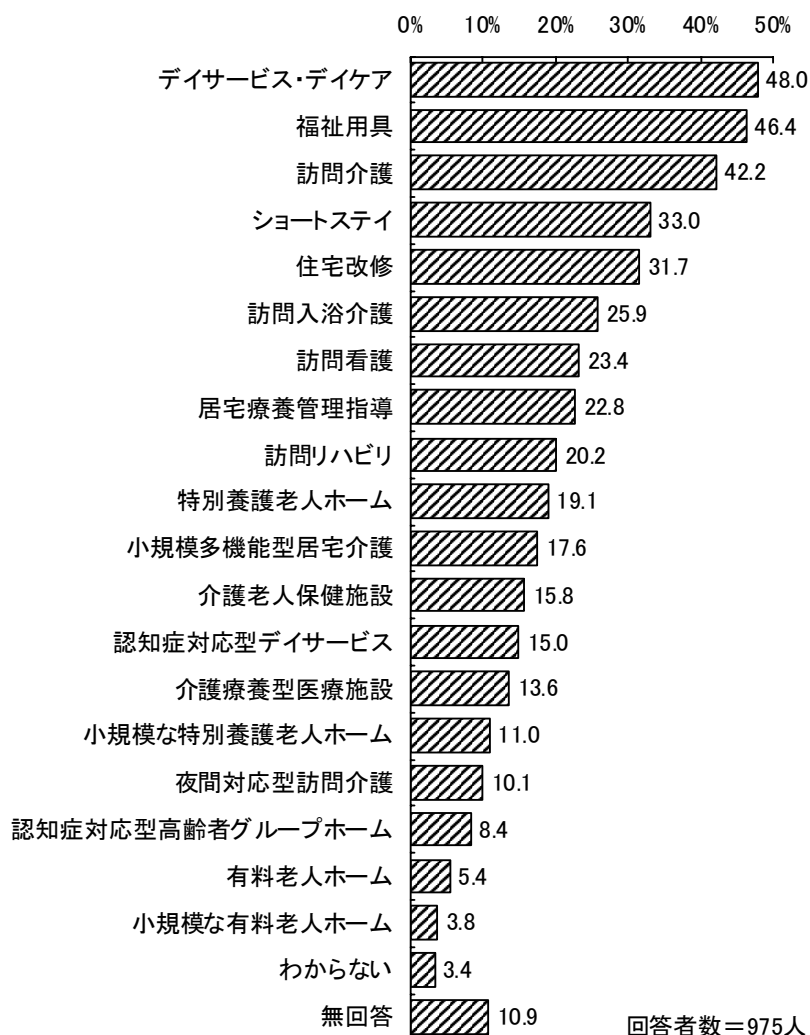
<p>介護老人保健 施設 1件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ リハビリを行ってほしい。
<p>夜間対応型 訪問介護 1件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ヘルパーの質が介護度に合わない人を派遣される（ヘルパーさんの技量に不満、満足できる方も多いがそうでない事多い）。
<p>その他 10件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ こちらの思うようにはいかない。 ▪ 認知症だが、専門的ケアやリハビリが不十分に思う。 ▪ 利用者にとってコストの負担が重くのしかかる。

5. 今後の生活に対する考え方

(1) 介護保険サービスの利用意向(問13)

あなたが、利用したい(利用し続けたい)サービスはどれですか。以下の中から、あてはまるものすべてに○をしてください。

図表 3-40 介護保険サービスの利用意向(複数回答)



在宅の要介護高齢者における介護保険サービスの利用意向をみると、「デイサービス・デイケア」「福祉用具」「訪問介護」が上位3位であり、これらのサービスはいずれも4割台が利用意向を示している。次いで、「ショートステイ」「住宅改修」が3割台が続いている。

地域密着型サービスの中では、「小規模多機能型居宅介護」の利用意向がもっとも高い17.6%、次いで「認知症対応型デイサービス」15.0%となっている。また、居住系サービスの利用意向は下位であり、「認知症対応型高齢者グループホーム」「有料老人ホーム」「小規模な有料老人ホーム」の利用意向を示した人の割合は、いずれも1割を下回っている。

図表 3-41 介護保険サービスの利用意向

	回答者数(人)	デイサービス・デイケア	福祉用具	訪問介護	ショートステイ	住宅改修	訪問入浴介護	訪問看護	居宅療養管理指導	訪問リハビリ	特別養護老人ホーム	小規模多機能型居宅介護
全体	975	48.0	46.4	42.2	33.0	31.7	25.9	23.4	22.8	20.2	19.1	17.6
要介護度別	要介護 1	262	48.1	33.2	43.1	26.3	24.8	15.6	12.6	11.5	13.0	16.0
	要介護 2	212	59.4	50.9	37.7	33.0	34.0	17.9	12.7	14.6	17.9	18.9
	要介護 3	174	55.7	54.0	40.8	42.0	36.2	23.6	19.5	20.1	17.8	22.4
	要介護 4	130	49.2	60.0	49.2	41.5	39.2	43.8	42.3	36.9	34.6	23.8
	要介護 5	111	28.8	61.3	63.1	41.4	34.2	59.5	64.0	57.7	31.5	18.9
	わからない	48	22.9	20.8	12.5	10.4	18.8	6.3	12.5	16.7	8.3	2.1

	回答者数(人)	介護老人保健施設	認知症対応型デイサービス	介護療養型医療施設	小規模な特別養護老人ホーム	夜間対応型訪問介護	認知症対応型高齢者グループホーム	有料老人ホーム	小規模な有料老人ホーム	わからない	無回答	
全体	975	15.8	15.0	13.6	11.0	10.1	8.4	5.4	3.8	3.4	10.9	
要介護度別	要介護 1	262	10.7	17.2	11.5	6.5	6.9	9.5	4.2	2.3	3.4	11.8
	要介護 2	212	18.9	16.5	12.3	11.3	8.0	8.5	6.1	5.2	0.5	9.0
	要介護 3	174	16.7	20.1	15.5	14.4	10.9	12.1	7.5	5.2	1.7	8.6
	要介護 4	130	16.9	10.0	15.4	10.8	10.0	3.1	3.1	1.5	1.5	4.6
	要介護 5	111	22.5	11.7	23.4	18.9	25.2	9.9	9.0	6.3	2.7	5.4
	わからない	48	14.6	6.3	4.2	6.3	2.1	4.2	0.0	4.2	20.8	33.3

要介護度別にみると、もっとも利用意向の高いサービスは、要介護 1～3 の人では「デイサービス・デイケア」、要介護 4 の人では「福祉用具」となっている。

「福祉用具」「訪問入浴介護」「訪問看護」「居宅療養管理指導」「訪問リハビリ」「特別養護老人ホーム」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」「夜間対応型訪問介護」は、介護度が高い層ほど利用意向が高いサービスである。要介護 5 の人は「訪問看護」の利用意向がもっとも高く、次いで「訪問介護」「福祉用具」「訪問入浴介護」「居宅療養管理指導」の順となっている。

図表 3-42 介護保険サービスの利用意向(上位 5 位表)

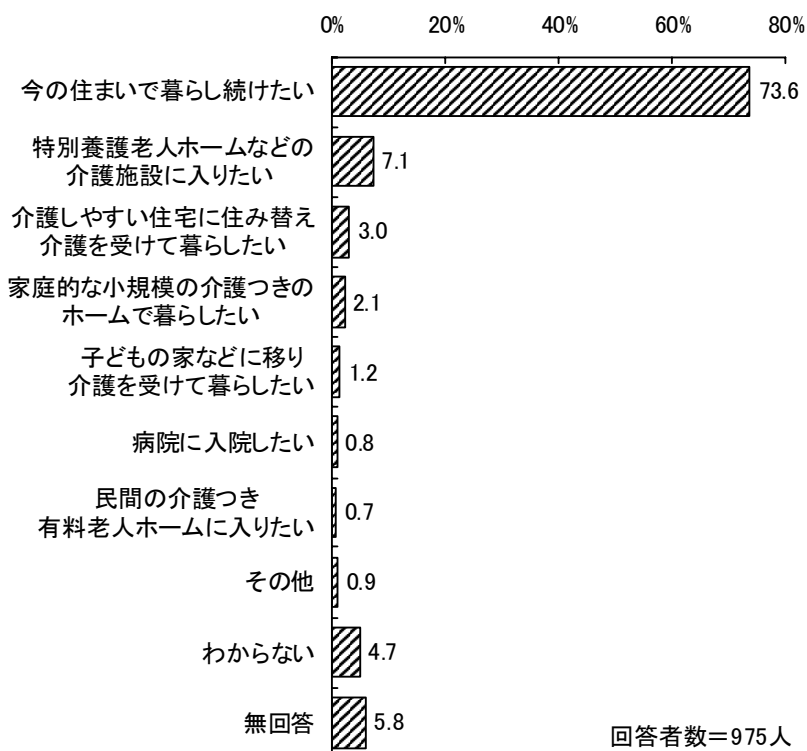
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
要介護度別	要介護 1 (262 人)	デイサービス・ デイケア 48.1%	訪問介護 43.1%	福祉用具 33.2%	ショートステイ 26.3%	住宅改修 24.8%
	要介護 2 (212 人)	デイサービス・ デイケア 59.4%	福祉用具 50.9%	訪問介護 37.7%	住宅改修 34.0%	ショートステイ 33.0%
	要介護 3 (174 人)	デイサービス・ デイケア 55.7%	福祉用具 54.0%	ショートステイ 42.0%	訪問介護 40.8%	住宅改修 36.2%
	要介護 4 (130 人)	福祉用具 60.0%	訪問介護、デイサービス・デイケア 各 49.2%		訪問入浴介護 43.8%	訪問看護 42.3%
	要介護 5 (111 人)	訪問看護 64.0%	訪問介護 63.1%	福祉用具 61.3%	訪問入浴介護 59.5%	居宅療養管理 指導 57.7%

※要介護度別の「わからない」は、掲載を省略

(2) 今後希望する暮らし方(問17)

あなた(あて名のご本人)は、今後、どのような暮らし方をしたいですか。
(もっとも近い意見1つに○)

図表 3-43 今後希望する暮らし方(単数回答)



在宅の要介護高齢者が今後希望する暮らし方の第1位は、「今の住まいで暮らし続けたい」であり、73.6%が希望している。次いで、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」7.1%、「介護しやすい住宅に住み替え介護を受けて暮らしたい」3.0%、「家庭的な小規模の介護付きのホームで暮らしたい」2.1%の順となっている。

図表 3-44 今後希望する暮らし方

		回答者数(人)	今の住まいで暮らし続けたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	介護しやすい住宅に住み替え介護を受けて暮らしたい	家庭的な小規模の介護つきのホームで暮らしたい	子どもの家などに移り介護を受けて暮らしたい	病院に入院したい	民間の介護つき有料老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
全体		975	73.6	7.1	3.0	2.1	1.2	0.8	0.7	0.9	4.7	5.8
年齢別	65～74 歳	177	72.9	5.6	5.1	0.6	0.6	2.3	1.1	0.0	7.9	4.0
	75～79 歳	150	68.0	8.0	2.7	4.7	2.7	1.3	1.3	0.0	4.0	7.3
	80～84 歳	210	74.3	5.7	3.8	1.9	1.9	1.0	0.0	0.5	4.3	6.7
	85～89 歳	215	78.6	7.0	1.4	1.9	0.0	0.0	1.4	0.5	4.2	5.1
	90 歳以上	193	72.5	9.3	2.1	2.1	1.0	0.0	0.0	3.6	3.6	5.7
要介護度別	要介護 1	262	77.1	5.3	1.9	2.7	0.4	0.8	1.1	0.8	3.1	6.9
	要介護 2	212	69.3	7.1	3.3	2.4	1.4	0.0	0.9	2.4	4.7	8.5
	要介護 3	174	74.1	8.0	4.0	2.9	1.7	0.6	0.6	0.6	4.0	3.4
	要介護 4	130	74.6	10.0	3.8	0.8	0.8	0.0	0.8	0.8	5.4	3.1
	要介護 5	111	66.7	10.8	4.5	0.9	1.8	3.6	0.0	0.0	5.4	6.3
	わからない	48	81.3	2.1	0.0	2.1	4.2	2.1	0.0	0.0	6.3	2.1
家族形態別	ひとり暮らし	173	75.1	7.5	3.5	2.3	0.6	1.7	1.7	0.6	3.5	3.5
	夫婦のみ世帯	240	75.0	7.1	2.5	2.5	1.7	0.4	0.8	0.4	3.8	5.8
	世帯全員が 65 歳以上	48	81.3	8.3	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	2.1	4.2
	二世帯・三世帯等の世帯	457	73.5	7.4	3.5	1.5	1.1	0.9	0.4	1.3	5.3	5.0

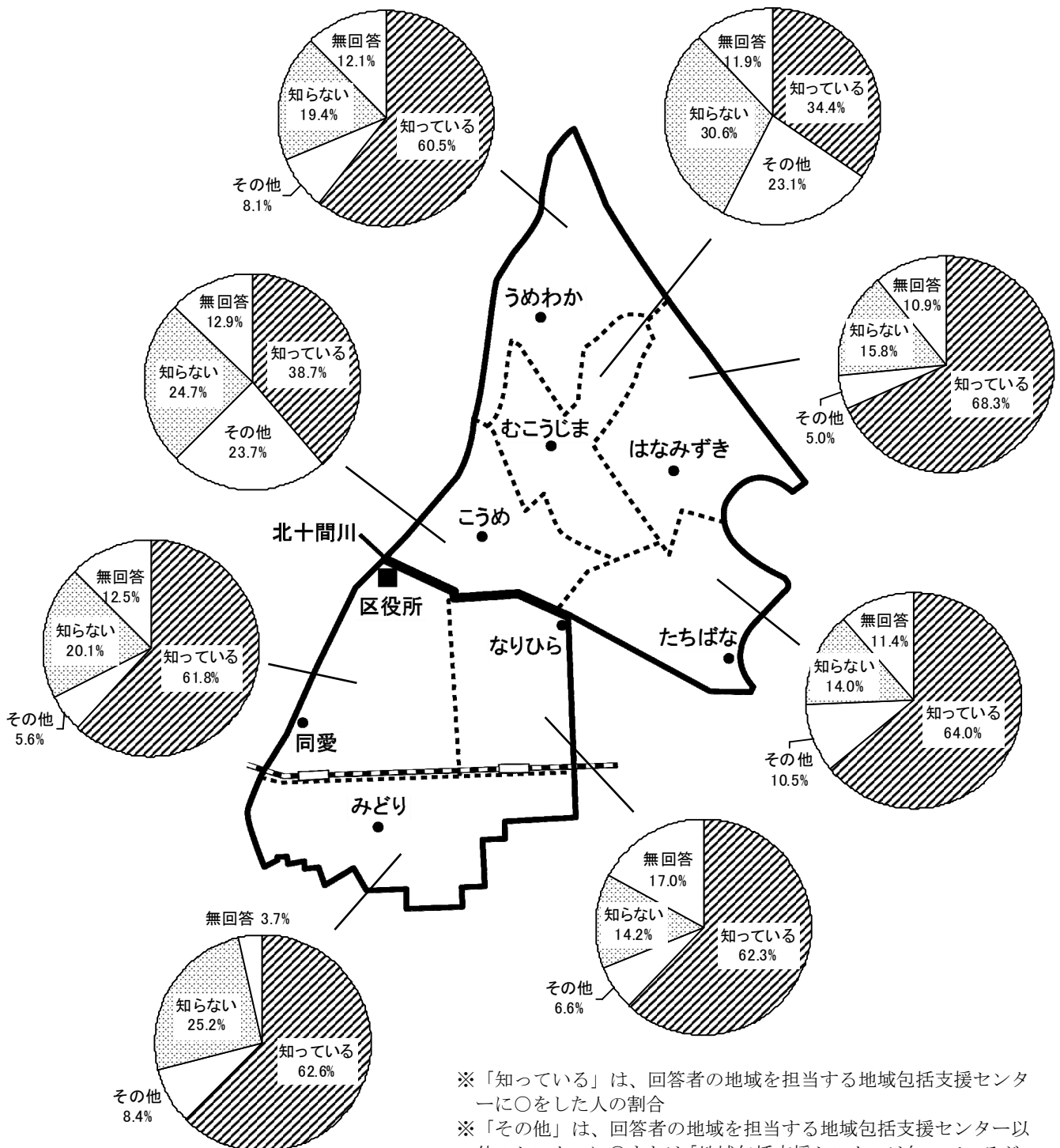
要介護度別にみると、「今の住まいで暮らし続けたい」と回答した人の割合は、要介護 1 の人が 77.1% ともっとも高い。要介護 4・5 の人においては「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」を約 1 割が希望しており、要介護 1～3 の人に比べると施設入所意向が高くあらわれている。

6. 介護保険や区の福祉保健施策に対する意向等

(1) 担当する地域包括支援センターの認知度(問14)

あなた(あて名のご本人)は、あなたの地域を担当する地域包括支援センターはどこか知っていますか。(1つに○)

図表 3-45 担当する地域包括支援センターの認知度(単数回答)



※「知っている」は、回答者の地域を担当する地域包括支援センターに○をした人の割合

※「その他」は、回答者の地域を担当する地域包括支援センター以外のセンターに○または「地域包括支援センターは知っているが、担当は知らない」と回答した人の割合

図表 3-46 担当する地域包括支援センターの認知度

		回答者数(人)	はなみずき地域包括支援センター	たちばな地域包括支援センター	こうめ地域包括支援センター	なりひら地域包括支援センター	うめわか地域包括支援センター	同愛地域包括支援センター	むこうじま地域包括支援センター	みどり地域包括支援センター	地域包括支援センターは知っているが、担当は知らない	知らない	無回答
全 体		975	9.4	8.5	4.2	8.0	8.6	10.7	6.4	7.0	4.3	20.8	12.1
居住地域別	はなみずき	101	68.3	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0	15.8	10.9
	たちばな	114	1.8	64.0	0.0	2.6	0.9	0.0	0.0	0.0	5.3	14.0	11.4
	こうめ	93	2.2	1.1	38.7	5.4	1.1	1.1	5.4	0.0	7.5	24.7	12.9
	なりひら	106	0.0	1.9	0.0	62.3	0.0	0.9	0.0	0.9	2.8	14.2	17.0
	うめわか	124	4.0	0.0	2.4	0.0	60.5	0.0	0.8	0.0	0.8	19.4	12.1
	同愛	144	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.8	0.7	0.0	4.9	20.1	12.5
	むこうじま	160	7.5	2.5	0.0	1.3	2.5	1.3	34.4	0.0	8.1	30.6	11.9
	みどり	107	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	62.6	1.9	25.2	3.7

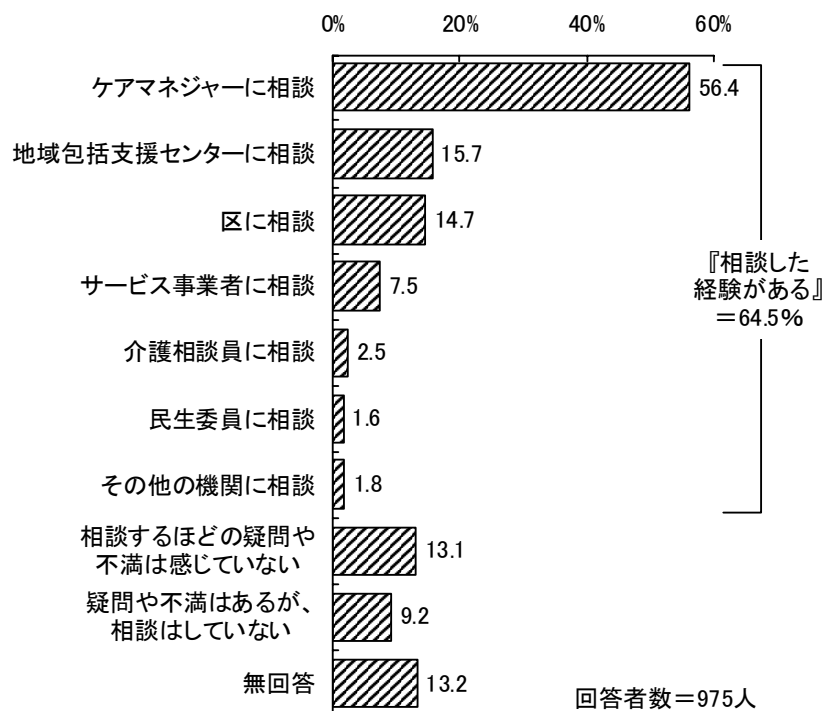
居住地域別に地域を担当する地域包括支援センターの認知度をみると、もっとも認知度が高いのは、高齢者の生活実態・意識調査の結果（54 ページ参照）同様「はなみずき地域包括支援センター」であり、居住者の 68.3%に認知されている。次いで、「たちばな地域包括支援センター」「みどり地域包括支援センター」「なりひら地域包括支援センター」「同愛地域包括支援センター」「うめわか地域包括支援センター」の認知度が 6 割台で続いている。

「こうめ地域包括支援センター」「むこうじま地域包括支援センター」の認知度は 3 割台にとどまっており、高齢者の生活実態・意識調査の結果と同様に、他に比べて低い割合となっている。

(2) 介護保険に関する疑問や不満の相談先(問15)

これまで感じた介護保険に関する疑問や不満などについて、相談をしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表 3-47 介護保険に関する疑問や不満の相談先(複数回答)



※『相談した経験がある』 = 100% - 「相談するほどの疑問や不満は感じていない」 - 「疑問や不満はあるが、相談はしていない」 - 「無回答」

在宅の要介護高齢者の介護保険に関する疑問や不満の相談先をみると、「相談するほどの疑問や不満は感じていない」は13.1%、「疑問や不満はあるが、相談はしていない」は9.2%であり、64.5%が『相談した経験がある』と回答している。

相談先としては、「ケアマネジャーに相談」が56.4%ともっとも高く、次いで「地域包括支援センターに相談」15.7%、「区に相談」14.7%の順となっている。

図表 3-48 介護保険に関する疑問や不満の相談先

		回答者数(人)	ケアマネジャーに相談	地域包括支援センターに相談	区に相談	サービス事業者に相談	介護相談員に相談	民生委員に相談	その他の機関に相談	相談するほどの疑問や不満は感じていない	疑問や不満はあるが、相談はしていない	無回答	『相談した経験がある』
全 体		975	56.4	15.7	14.7	7.5	2.5	1.6	1.8	13.1	9.2	13.2	64.5
年齢別	65～74 歳	177	53.7	18.1	15.3	7.9	3.4	1.1	0.0	11.3	11.9	15.8	61.0
	75～79 歳	150	51.3	15.3	18.0	7.3	2.0	3.3	3.3	15.3	8.0	13.3	63.4
	80～84 歳	210	60.5	14.3	12.9	8.6	1.4	1.4	2.4	8.6	8.6	14.3	68.5
	85～89 歳	215	54.0	14.0	13.0	6.0	3.3	0.9	2.8	16.3	11.6	10.7	61.4
	90 歳以上	193	60.6	16.1	15.5	8.3	1.6	2.1	1.0	14.0	6.2	12.4	67.4
要介護度別	要介護 1	262	57.3	21.0	14.5	8.8	2.7	2.3	2.3	13.0	8.0	13.0	66.0
	要介護 2	212	59.0	13.7	11.3	5.7	1.4	0.5	0.9	11.3	8.5	14.2	66.0
	要介護 3	174	61.5	16.7	16.1	5.7	4.0	2.3	3.4	13.8	10.3	7.5	68.4
	要介護 4	130	65.4	13.8	16.9	13.1	1.5	3.1	0.8	13.8	5.4	10.8	70.0
	要介護 5	111	56.8	13.5	21.6	8.1	3.6	0.0	2.7	9.9	9.9	13.5	66.7
	わからない	48	14.6	4.2	8.3	2.1	0.0	2.1	0.0	25.0	20.8	27.1	27.1
家族形態別	ひとり暮らし	173	61.3	19.7	16.2	12.7	3.5	1.2	1.7	11.6	5.8	11.6	71.0
	夫婦のみ世帯	240	58.8	14.6	12.5	5.0	1.7	2.9	2.9	10.0	8.8	15.4	65.8
	世帯全員が65歳以上	48	58.3	18.8	12.5	6.3	4.2	0.0	0.0	12.5	6.3	12.5	68.7
	二世帯・三世帯等の世帯	457	54.9	15.1	16.0	7.4	2.2	1.3	1.5	15.3	10.7	11.4	62.6

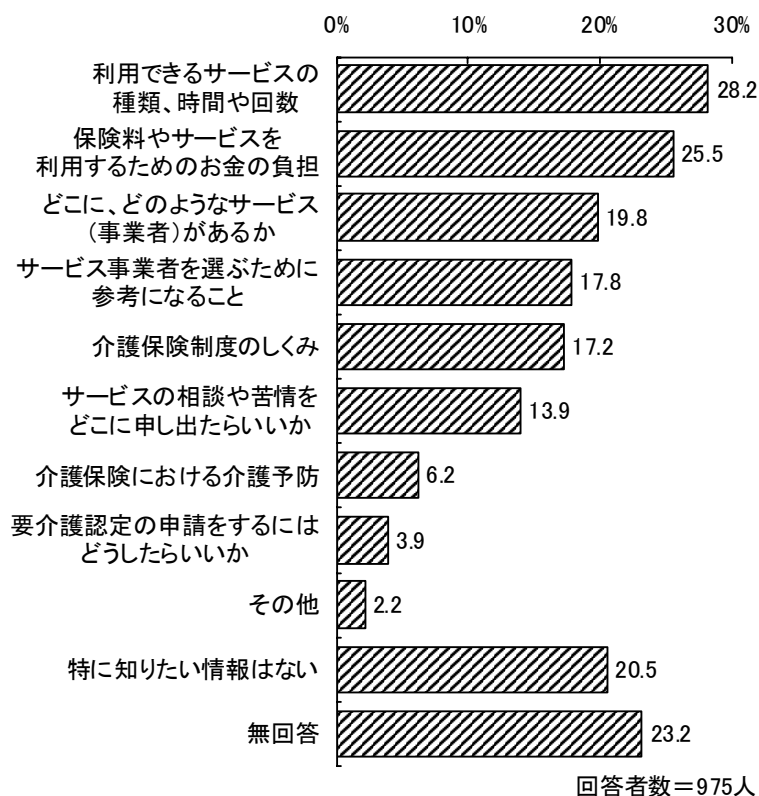
※『相談した経験がある』=100%－「相談するほどの疑問や不満は感じていない」－「疑問や不満はあるが、相談はしていない」－「無回答」

家族形態別にみると、『相談した経験がある』割合は、ひとり暮らしの人が他に比べて高く、相談先は、「ケアマネジャーに相談」に次いで、「地域包括支援センターに相談」が約2割で続いている。

(3) 介護保険について知りたい情報(問16)

介護保険制度や介護保険サービスに関して、あなた(あて名のご本人)が知りたい情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

図表 3-49 介護保険について知りたい情報(複数回答)

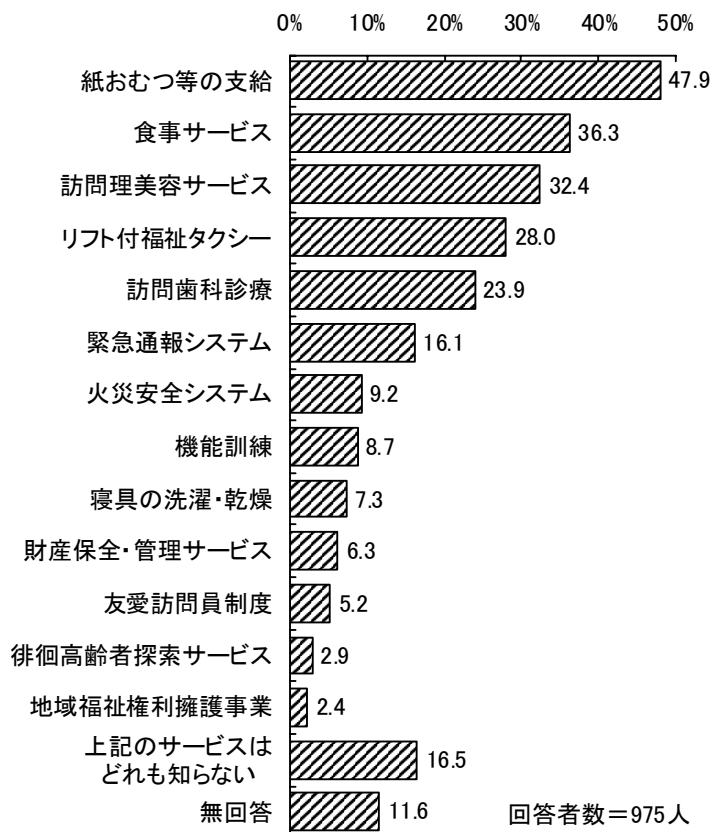


在宅の要介護高齢者が介護保険について知りたい情報としては、「利用できるサービスの種類、時間や回数」28.2%、「保険料やサービスを利用するためのお金の負担」25.5%、「どこに、どのようなサービス(事業者)があるか」19.8%であり、制度で利用できるサービスに関する事、経済的負担、サービス事業者の情報が、上位3位となっている。

(4) 区の保健福祉サービスの認知度(問18)

以下の高齢者向け保健福祉サービスについて、あなた(あて名のご本人)が、知っている事業やサービスがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 3-50 区の保健福祉サービスの認知度(複数回答)



在宅の要介護高齢者における区の保健福祉サービスの認知度は、「紙おむつ等の支給」47.9%がもっとも高く、「食事サービス」「訪問理美容サービス」が3割台、「リフト付福祉タクシー」「訪問歯科診療」が2割台で続いている。

「火災安全システム」「機能訓練」「寝具の洗濯・乾燥」「財産保全・管理サービス」「友愛訪問員制度」「徘徊高齢者探索サービス」「地域福祉権利擁護事業」の認知度は、いずれも1割を下回っている。

図表 3-51 区の保健福祉サービスの認知度

		回答者数(人)	紙おむつ等の支給	食事サービス	訪問理美容サービス	リフト付福祉タクシー	訪問歯科診療	緊急通報システム	火災安全システム	機能訓練
全 体		975	47.9	36.3	32.4	28.0	23.9	16.1	9.2	8.7
要介護度別	要介護 1	262	27.9	40.8	16.0	18.7	19.5	21.4	10.3	7.6
	要介護 2	212	36.8	38.7	26.4	23.6	20.3	16.0	8.5	8.5
	要介護 3	174	56.9	39.1	37.4	30.5	24.7	13.2	9.2	9.2
	要介護 4	130	79.2	33.1	62.3	45.4	34.6	13.8	9.2	10.0
	要介護 5	111	80.2	34.2	55.9	45.0	38.7	18.9	9.0	11.7
	わからない	48	25.0	14.6	8.3	10.4	6.3	0.0	4.2	2.1

		回答者数(人)	寝具の洗濯・乾燥	財産保全・管理サービス	友愛訪問員制度	徘徊高齢者探索サービス	地域福祉権利擁護事業	上記のサービスはどれも知らない	無回答
全 体		975	7.3	6.3	5.2	2.9	2.4	16.5	11.6
要介護度別	要介護 1	262	5.0	6.9	3.4	3.1	2.7	22.5	13.7
	要介護 2	212	4.2	5.7	6.6	2.4	1.9	18.4	11.3
	要介護 3	174	9.8	6.9	6.3	4.6	0.6	10.9	12.1
	要介護 4	130	10.8	4.6	3.8	1.5	5.4	8.5	4.6
	要介護 5	111	12.6	10.8	8.1	4.5	2.7	4.5	9.0
	わからない	48	4.2	0.0	2.1	0.0	0.0	43.8	16.7

要介護度別にみると、もっとも認知度の高いサービスは、要介護1・2の人では「食事サービス」、要介護3～5の人では「紙おむつ等の支給」となっている。

要介護4・5の人においては「紙おむつ等の支給」「訪問理美容サービス」「リフト付福祉タクシー」が上位3項目であり、特に「紙おむつ等の支給」の認知度は約8割となっている。

図表 3-52 区の保健福祉サービスの認知度(上位 5 位表)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
要介護度別	要介護 1 (262 人)	食事サービス 40.8%	紙おむつ等の 支給 27.9%	緊急通報 システム 21.4%	訪問歯科診療 19.5%	リフト付福祉 タクシー 18.7%
	要介護 2 (212 人)	食事サービス 38.7%	紙おむつ等の 支給 36.8%	訪問理美容 サービス 26.4%	リフト付福祉 タクシー 23.6%	訪問歯科診療 20.3%
	要介護 3 (174 人)	紙おむつ等の 支給 56.9%	食事サービス 39.1%	訪問理美容 サービス 37.4%	リフト付福祉 タクシー 30.5%	訪問歯科診療 24.7%
	要介護 4 (130 人)	紙おむつ等の 支給 79.2%	訪問理美容 サービス 62.3%	リフト付福祉 タクシー 45.4%	訪問歯科診療 34.6%	食事サービス 33.1%
	要介護 5 (111 人)	紙おむつ等の 支給 80.2%	訪問理美容 サービス 55.9%	リフト付福祉 タクシー 45.0%	訪問歯科診療 38.7%	食事サービス 34.2%

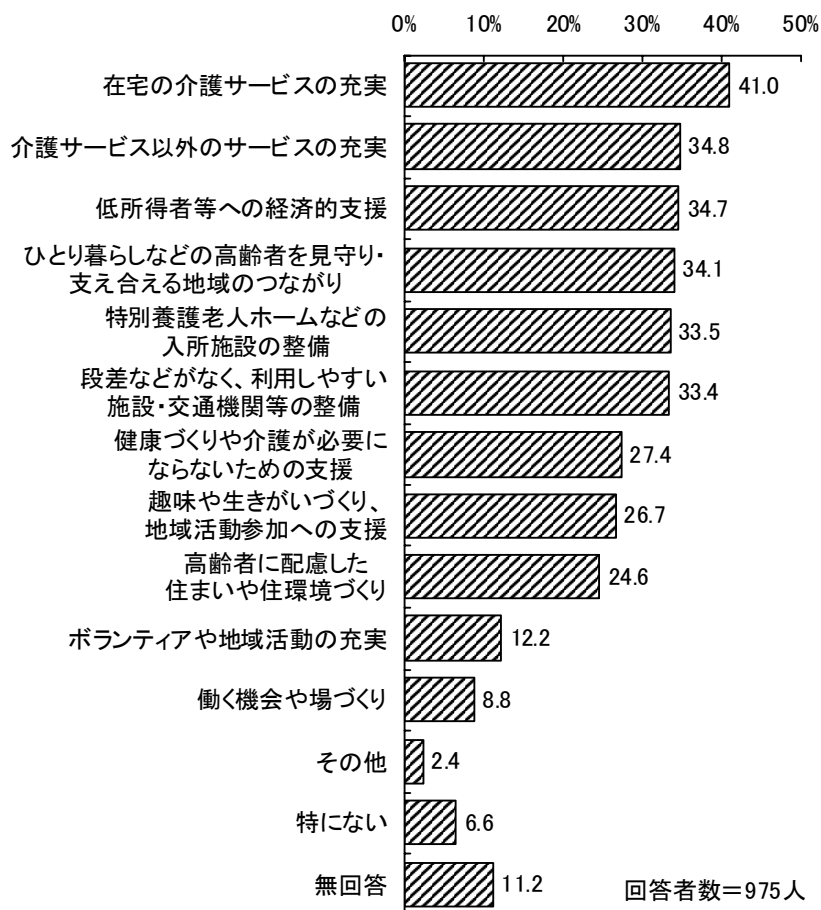
※要介護度別の「わからない」は、掲載を省略

※「上記のサービスはどれも知らない」を除いた順位

(5) 重要と思う高齢者福祉保健施策(問19)

高齢者が安心して、いきいきと暮らすことができるまちにしていくために、あなた(あて名のご本人)が重要と思う取り組みはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 3-53 重要と思う高齢者福祉保健施策(複数回答)



在宅の要介護高齢者が重要と思う高齢者福祉保健施策をみると、「在宅の介護サービスの充実」41.0%、「介護サービス以外のサービスの充実」34.8%と、在宅サービスの充実が上位2位となっている。以下、「低所得者等への経済的支援」「ひとり暮らしなどの高齢者を見守り・支え合える地域のつながり」「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」「段差などがなく、利用しやすい施設・交通機関等の整備」が3割台で続いている。

図表 3-54 重要と思う高齢者福祉保健施策

		回答者数(人)	在宅の介護サービスの充実	介護サービス以外のサービスの充実	低所得者等への経済的支援	ひとり暮らしなどの高齢者を見守り・支え合える地域のつながり	特別養護老人ホームなどの入所施設の整備	段差などがなく、利用しやすい施設・交通機関等の整備	健康づくりや介護が必要にならないための支援	趣味や生きがいづくり、地域活動参加への支援	高齢者に配慮した住まいや住環境づくり	ボランティアや地域活動の充実	働く機会や場づくり	その他
全体		975	41.0	34.8	34.7	34.1	33.5	33.4	27.4	26.7	24.6	12.2	8.8	2.4
年齢別	65～74 歳	177	39.5	30.5	40.1	29.9	29.9	40.7	29.9	29.4	31.1	18.6	11.9	0.0
	75～79 歳	150	36.0	33.3	34.0	30.0	30.0	40.0	30.0	27.3	25.3	12.7	9.3	3.3
	80～84 歳	210	43.3	39.0	32.4	36.7	30.0	31.9	28.6	28.1	22.9	11.4	11.4	1.9
	85～89 歳	215	42.3	35.8	34.0	37.2	34.9	29.8	24.7	22.8	25.1	8.4	4.7	2.3
	90 歳以上	193	42.5	34.7	33.2	33.7	42.0	27.5	24.9	26.9	19.7	10.9	8.3	4.7
要介護度別	要介護 1	262	44.7	37.4	35.1	40.1	31.3	35.9	29.8	29.0	24.4	13.7	8.4	0.8
	要介護 2	212	37.7	29.2	31.6	29.7	32.1	28.8	25.5	24.5	21.7	11.3	7.1	3.3
	要介護 3	174	42.0	33.9	38.5	33.9	36.2	32.8	33.3	29.9	26.4	11.5	8.6	3.4
	要介護 4	130	43.1	37.7	33.1	26.9	35.4	34.6	22.3	26.2	24.6	10.8	10.0	3.1
	要介護 5	111	49.5	44.1	43.2	38.7	46.8	35.1	25.2	21.6	31.5	16.2	13.5	2.7
	わからない	48	10.4	25.0	22.9	33.3	16.7	39.6	22.9	27.1	20.8	4.2	6.3	0.0
家族形態別	ひとり暮らし	173	54.3	38.7	35.8	48.0	33.5	28.9	20.2	22.5	27.7	8.7	5.8	1.7
	夫婦のみ世帯	240	41.3	27.5	33.8	27.9	28.3	38.3	29.6	24.6	25.4	13.3	9.6	1.7
	世帯全員が 65 歳以上	48	25.0	27.1	33.3	31.3	33.3	20.8	20.8	31.3	16.7	10.4	6.3	4.2
	二世帯・三世帯等の世帯	457	40.3	38.7	36.1	33.3	38.5	36.1	31.1	30.4	25.4	13.1	10.3	2.8

※「特になし」「無回答」は、掲載を省略

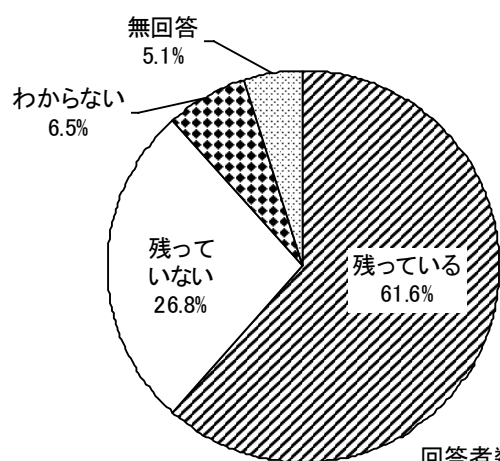
要介護度別にみると、どの介護度においても、重要と思う高齢者福祉保健施策の第1位は「在宅の介護サービスの充実」である。第2位は、要介護1の人では「ひとり暮らしなどの高齢者を見守り・支え合える地域のつながり」、要介護3の人では「低所得者等への経済的支援」、要介護4の人では「介護サービス以外のサービスの充実」、要介護2・5の人では「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」となっている。

7. 施設・居住系サービス利用者の生活状況と意向等

(1) 暮らすことのできる住まいの有無(問20)

現在の施設(ホーム)から退所すると仮定した場合、あなた(あて名のご本人)には、暮らすことのできる住まいが残っていますか。お子さんなどご家族のお住まいも含めてご回答ください。(1つに〇)

図表 3-55 暮らすことのできる住まいの有無(単数回答)



施設・居住系サービス利用者について、施設(ホーム)を退所した場合に暮らすことのできる住まいが「残っている」人の割合は61.6%となっている。

図表 3-56 暮らすことのできる住まいの有無

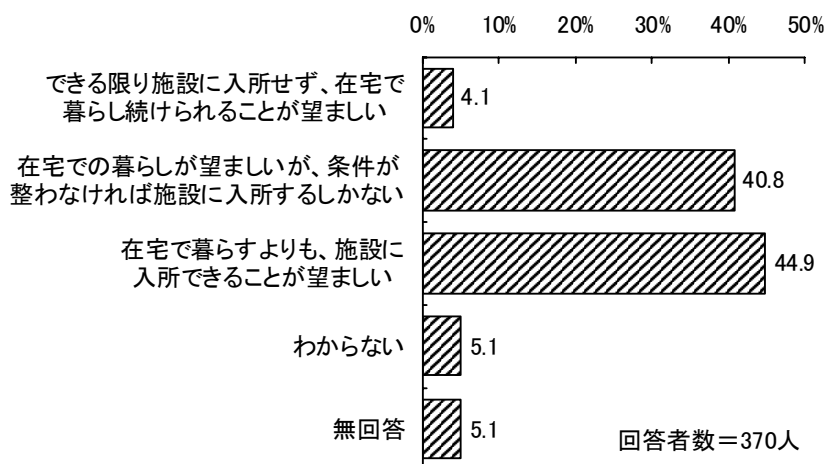
		回答者数(人)	残っている	残っていない	わからない	無回答
全 体		370	61.6	26.8	6.5	5.1
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	49.5	40.4	5.1	5.1
	老人保健施設	108	65.7	20.4	6.5	7.4
	介護療養型医療施設	63	69.8	23.8	4.8	1.6
	有料老人ホーム	65	70.8	21.5	6.2	1.5
	認知症高齢者グループホーム	35	51.4	22.9	14.3	11.4

生活場所別にみると、特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム利用者においては、「残っている」は5割前後であり、他の施設利用者に比べて割合が低い。

(2) 施設入所に対する考え方(問21)

あなた(あて名のご本人)の施設入所に対する考え方は、次のうちどれにもっとも近いですか。(1つに○)

図表 3-57 施設入所に対する考え方(単数回答)



施設入所に対する考え方は、「在宅で暮らすよりも、施設に入所できることが望ましい」44.9%、「在宅での暮らしが望ましいが、条件が整わなければ施設に入所するしかない」40.8%の順であり、「できる限り施設に入所せず、在宅で暮らし続けられることが望ましい」は4.1%であった。

図表 3-58 施設入所に対する考え方

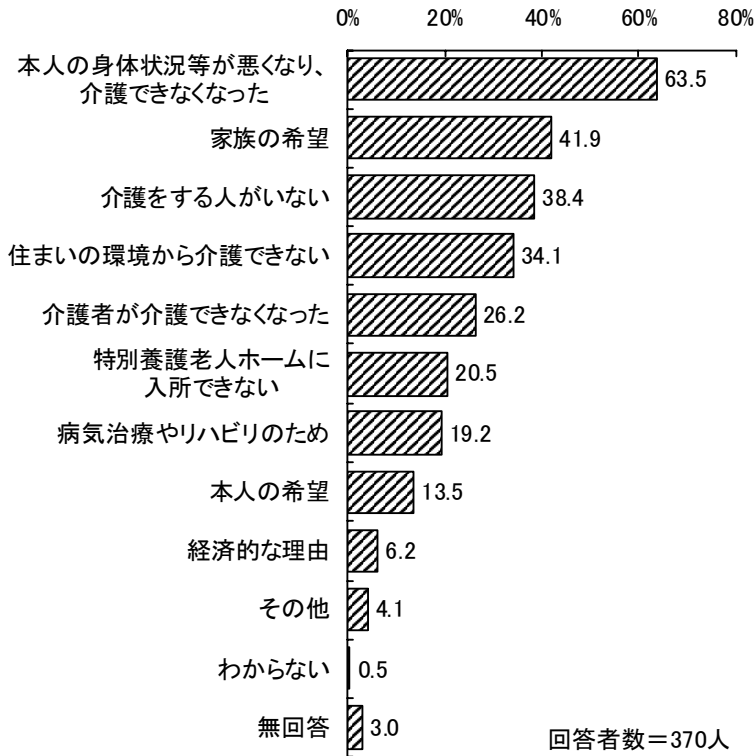
		回答者数(人)	できる限り施設に入所せず、在宅で暮らし続けられることが望ましい	在宅での暮らしが望ましいが、条件が整わなければ施設に入所するしかない	在宅で暮らすよりも、施設に入所できることが望ましい	わからない	無回答
全体		370	4.1	40.8	44.9	5.1	5.1
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	3.0	39.4	43.4	8.1	6.1
	老人保健施設	108	3.7	38.9	49.1	3.7	4.6
	介護療養型医療施設	63	1.6	34.9	54.0	4.8	4.8
	有料老人ホーム	65	6.2	53.8	35.4	3.1	1.5
	認知症高齢者グループホーム	35	8.6	37.1	37.1	5.7	11.4

生活場所別にみると、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設の介護保険施設利用者では「在宅で暮らすよりも、施設に入所できることが望ましい」、有料老人ホーム利用者では「在宅での暮らしが望ましいが、条件が整わなければ施設に入所するしかない」がそれぞれもっとも割合の高い意見である。認知症高齢者グループホーム利用者においては、「在宅で暮らすよりも、施設に入所できることが望ましい」「在宅での暮らしが望ましいが、条件が整わなければ施設に入所するしかない」が同率となっている。

(3) 施設入所の理由(問22)

現在の施設(ホーム)への入所の理由は、何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表 3-59 施設入所の理由(複数回答)



施設入所の理由は、「本人の身体状況等が悪くなり、介護できなくなった」63.5%がもっとも高く、次いで、「家族の希望」41.9%、「介護をする人がいない」38.4%の順となっている。

生活場所別にみると、どの施設利用者においても「本人の身体状況等が悪くなり、介護できなくなった」がもっとも割合が高い。また、老人保健施設及び有料老人ホーム利用者の3割台、認知症高齢者グループホーム利用者の2割台、介護療養型医療施設利用者の約2割が、「特別養護老人ホームに入所できない」を施設入所の理由にあげている。

図表 3-60 施設入所の理由

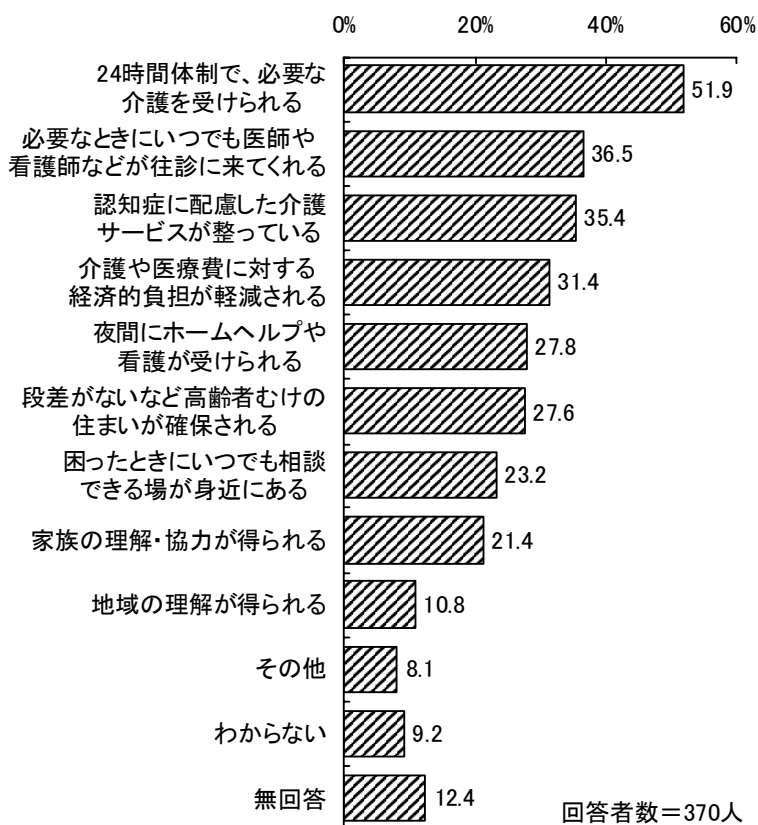
		回答者数(人)	本人の身体状況等が悪くなり、介護できなくなった	家族の希望	介護をする人がいない	住まいの環境から介護できない	介護者が介護できなくなった	特別養護老人ホームに入所できない	病気治療やリハビリのため	本人の希望	経済的な理由	その他
全体		370	63.5	41.9	38.4	34.1	26.2	20.5	19.2	13.5	6.2	4.1
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	70.7	39.4	43.4	28.3	34.3	0.0	6.1	14.1	8.1	1.0
	老人保健施設	108	56.5	45.4	40.7	43.5	28.7	33.3	31.5	12.0	8.3	4.6
	介護療養型医療施設	63	63.5	28.6	22.2	27.0	20.6	19.0	44.4	6.3	4.8	6.3
	有料老人ホーム	65	70.8	47.7	43.1	35.4	16.9	30.8	4.6	21.5	1.5	1.5
	認知症高齢者グループホーム	35	51.4	51.4	37.1	31.4	22.9	22.9	0.0	14.3	5.7	11.4

※「わからない」「無回答」は、掲載を省略

(4) 在宅で安心して暮らすための条件(問23)

どのようなサービスや条件が整えば、在宅でも安心して暮らすことができますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表 3-61 在宅で安心して暮らすための条件(複数回答)

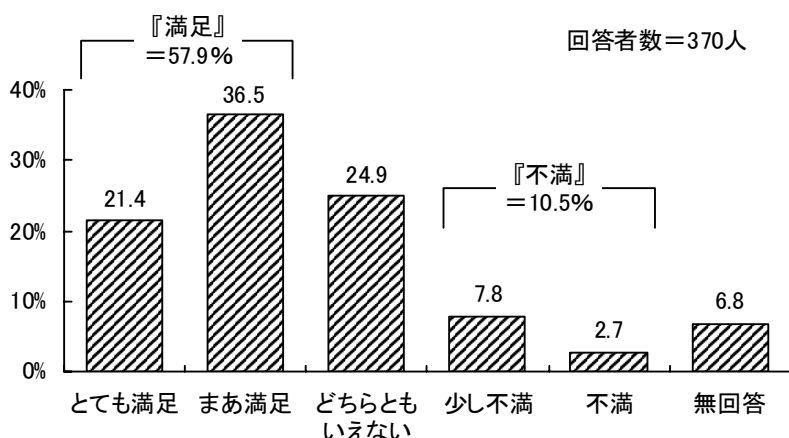


施設・居住系サービス利用者が在宅で安心して暮らすための条件をみると、「24 時間体制で、必要な介護を受けられる」がもっとも高く、51.9%と半数強の人からあげられた意見となっている。次いで、「必要なときにいつでも医師や看護師などが往診に来てくれる」「認知症に配慮した介護サービスが整っている」「介護や医療費に対する経済的負担が軽減される」が、3割台で続いている。

(5) 施設生活の満足度(問24)

あて名のご本人は、現在の施設(病院)での生活についてどのように感じますか。(1つに○)

図表 3-62 施設生活の満足度(単数回答)



施設・居住系サービス利用者の施設生活の満足度は、「まあ満足」36.5%がもっとも高く、「とても満足」21.4%を合わせた57.9%が『満足』と回答している。

一方、「少し不満」7.8%、「不満」2.7%を合わせた『不満』は約1割を占める。

図表 3-63 施設生活の満足度

		回答者数(人)	とても満足	まあ満足	どちらともいえない	少し不満	不満	無回答	『満足』	『不満』
全 体		370	21.4	36.5	24.9	7.8	2.7	6.8	57.9	10.5
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	29.3	37.4	18.2	6.1	1.0	8.1	66.7	7.1
	老人保健施設	108	14.8	38.0	27.8	6.5	4.6	8.3	52.8	11.1
	介護療養型医療施設	63	27.0	27.0	27.0	9.5	3.2	6.3	54.0	12.7
	有料老人ホーム	65	9.2	43.1	30.8	9.2	3.1	4.6	52.3	12.3
	認知症高齢者グループホーム	35	31.4	34.3	20.0	11.4	0.0	2.9	65.7	11.4

※『満足』 = 「とても満足」 + 「まあ満足」 『不満』 = 「少し不満」 + 「不満」

生活場所別にみると、特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム利用者は6割台が『満足』と回答しているのに対し、老人保健施設、介護療養型医療施設及び有料老人ホーム利用者では5割台であり、『不満』が1割強を占めている。

(6) 施設等を利用して困っていること、改善してほしいこと(問25)

特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型医療施設、有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームを利用して、困っていること、改善してほしいことなどはありますか。ご自由にご記入ください。

図表 3-64 施設等を利用して困っていること、改善してほしいこと

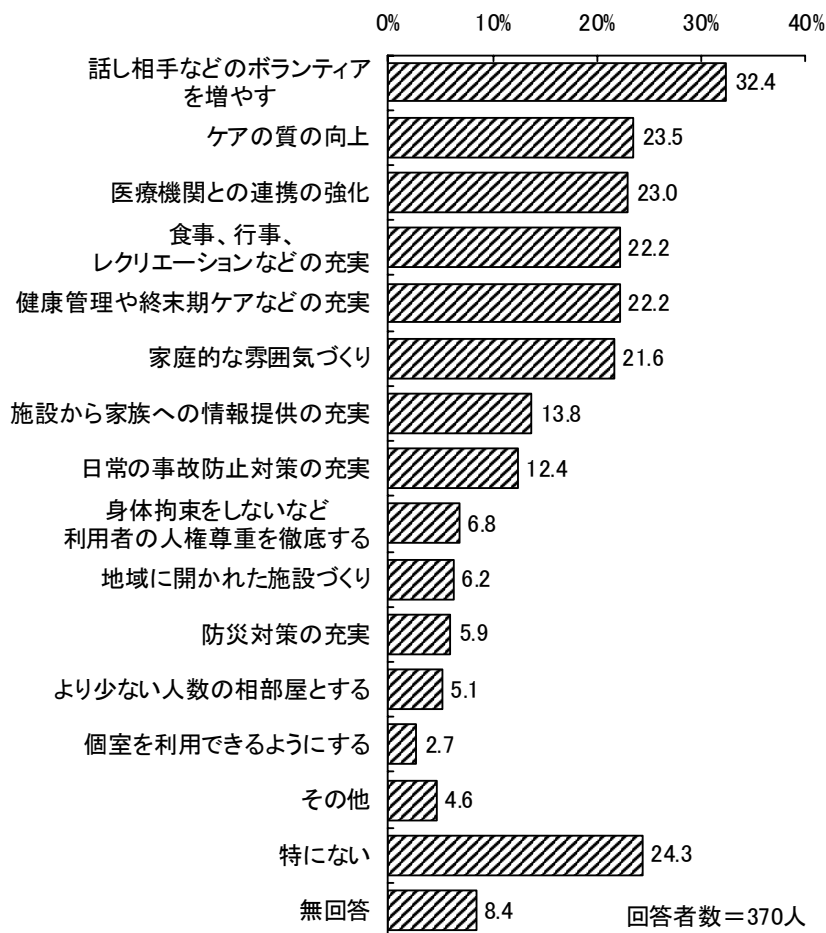
<p>特別養護老人ホーム 23件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す機会を多くもってほしい。 ・リハビリを、毎日、時間をかけて実施してもらいたい。 ・介護士さんの人数を増やしてほしい。今の人数では、大変だと思います。 ・個室などで、プライバシーがほしい。 ・直接本人に言わず陰口を言って、他の人から耳に入るのが、とても不愉快。 ・入所費が高いです。個室のため。 ・食事をもう少し本人の希望する食べ物（おかず）を出してほしい。 ・入所者が増え、職員の手が足りないらしい。十分な職員を施設が雇用できるだけの立法、行政上の措置が必要。
<p>老人保健施設 48件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親身になって、リハビリ等世話してもらっているの、感謝している。 ・料金が安い。国民年金のみでは、払うのが大変です。 ・面会時間の夕方がせめて後1時間長ければと思う（現在は19:00まで）。 ・胃ろうの人でも特養や老健で入所できる幅を増やしてほしい。 ・投薬管理はきちんとしてもらえるものの、歯科以外の病院の治療は受けられないとのことで、持病の事も、今後若干の不安があります。 ・リハビリなどもっと外的刺激のある時間が毎日、1時間でもいいのであれば、認知症の症状が進むのを遅らせるのではないかと思います。筋力がおちてきているのも心配。 ・保健施設を転々とするより、早く特別養護老人ホームに入れることを願っています。 ・老人保健施設の場合、3～6か月で移動（退所）になりますが、本人がやっとなれた所での移動は、ちょっと考えものです。 ・期間が決められており、終身でないのが先の不安がある。 ・介護士さんの待遇を良くして、人材育成に力を入れて良い介護の実現をしてほしいと、強く望みます。 ・施設内で介護して下さる方が少ないみたいで、常に忙しそうにしているため、本人の様子などを聞きにくい、声をかけにくい。もっとゆとりある状況をつくってほしい。 ・施設職員によっては、言葉遣いを始めとする、態度の悪い方がみうけられる。職員の質の向上を施設の方の問題として、しっかり改善してほしい。

<p>介護療養型 医療施設 22件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大変良くやっていただいております（週2回の入浴、食事の好みや母の性質を理解していただき、きめこまかいケアをしていただいております）。 ・本人の収入でまかなえる、施設等の利用料にしてほしい。家族の負担が大変です。 ・特別養護老人ホームに早く入所してほしいといわれている。 ・できれば費用の補助がほしい。また、区の施設に早く入れてほしい。 ・食事の改善。 ・病気が長引くと病院に移されてしまい、その後治癒しても元に戻る施設が満員になってしまうことへの不安。 ・リハビリをもっと増やしてほしい。 ・一括（4～5名一緒）管理を少しでも個人別化してほしい。特に「話しかけ」。
<p>有料老人ホーム 28件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居当時は、掃除の行き届かない点等不満もありましたが、少しずつ改善され、スタッフの方も心配りをして下さっていて、現在は良い状態です。 ・深夜の排せつが、ヘルパーさんの介助まで待てない時がある（ヘルパーさんの増員ができると有難い）。 ・ヘルパーさんが少ない。食事がおいしくない。 ・施設での医療行為ができないため、体調不良時の対応に苦慮している。 ・介護施設全般にいえませんが、介護者の人数等の関係からか、入浴時間が短く、ゆったりと入れないのが残念です。 ・賃金、待遇などホームに勤める人々の行政の介入が必要では。非常に出入りがはげしい様にみられる。 ・職員の方々が忙しそうで、頼み事がしづらい。 ・利用料金が安い。 ・公共の施設の待ちが長く、困って有料施設ホームに入っているが、家族の経済的不安が増加している。
<p>認知症高齢者 グループホーム 8件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重い人に、スタッフがつきっきりになる事が多く、軽度の人にはあまり良く見てもらえない。ほっぽりばなしが多いので、もう少し声かけ等を多くしてほしい。 ・費用がかかりすぎ、医療（検査費）がかかりすぎて困っています。 ・費用が高額。1か月17万～18万位必要。私も週2度位車で通うのに2万～3万必要なので、毎月20万位必要。

(7)施設に対する希望(問26)

あなた(あて名のご本人)は、現在の施設(ホーム)に対する希望として、どのようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表 3-65 施設に対する希望(複数回答)



施設・居住系サービス利用者の施設に対する希望をみると、「話し相手などのボランティアを増やす」が32.4%ともっとも高い。次いで、「ケアの質の向上」「医療機関との連携の強化」「食事、行事、レクリエーションなどの充実」「健康管理や終末期ケアなどの充実」「家庭的な雰囲気づくり」が2割台で続いている。

図表 3-66 施設に対する希望

	回答者数(人)	話し相手などのボランティアを増やす	ケアの質の向上	医療機関との連携の強化	食事、行事、レクリエーションなどの充実	健康管理や終末期ケアなどの充実	家庭的な雰囲気づくり	施設から家族への情報提供の充実	日常の事故防止対策の充実
全体	370	32.4	23.5	23.0	22.2	22.2	21.6	13.8	12.4
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	37.4	31.3	26.3	26.3	27.3	23.2	17.2
	老人保健施設	108	29.6	21.3	26.9	24.1	21.3	24.1	10.2
	介護療養型医療施設	63	27.0	22.2	11.1	12.7	22.2	19.0	4.8
	有料老人ホーム	65	41.5	18.5	23.1	24.6	16.9	21.5	10.8
	認知症高齢者グループホーム	35	20.0	20.0	22.9	17.1	20.0	14.3	22.9

	回答者数(人)	身体拘束をしないなど、利用者の人権尊重を徹底する	地域に開かれた施設づくり	防災対策の充実	より少ない人数の相部屋とする	個室を利用できるようにする	その他	特にない	無回答
全体	370	6.8	6.2	5.9	5.1	2.7	4.6	24.3	8.4
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	10.1	5.1	7.1	7.1	5.1	21.2	7.1
	老人保健施設	108	6.5	9.3	6.5	4.6	3.7	21.3	9.3
	介護療養型医療施設	63	3.2	6.3	0.0	7.9	0.0	31.7	9.5
	有料老人ホーム	65	6.2	3.1	4.6	3.1	0.0	3.1	18.5
	認知症高齢者グループホーム	35	5.7	5.7	14.3	0.0	2.9	2.9	40.0

特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設及び有料老人ホーム利用者においては、「話し相手などのボランティアを増やす」に対する希望割合がそれぞれもっとも高い。

認知症高齢者グループホーム利用者においては、「医療機関との連携の強化」「日常の事故防止対策の充実」が、同率で第1位の希望となっている。

図表 3-67 施設に対する希望(上位 5 位表)

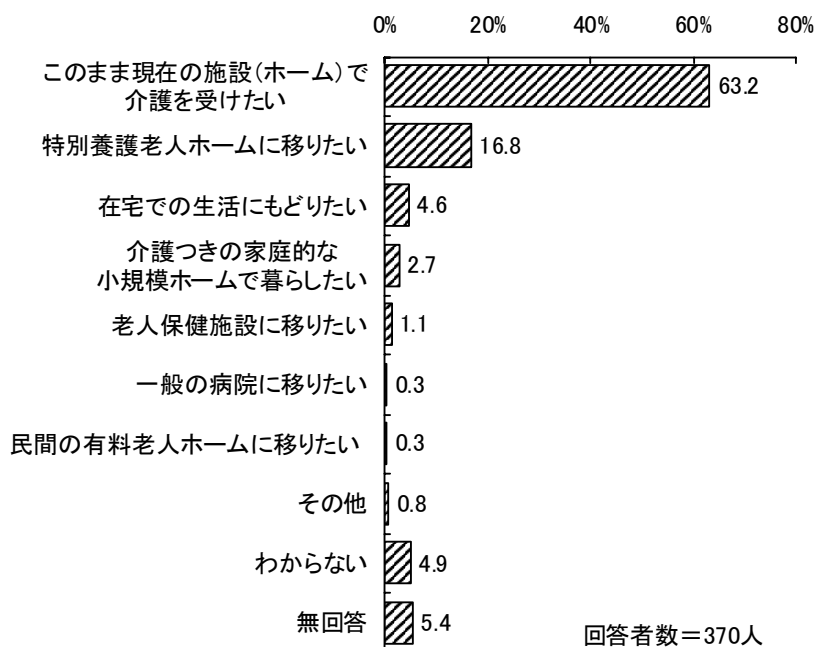
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
生活場所別	特別養護老人ホーム (99 人)	話し相手などのボランティアを増やす 37.4%	ケアの質の向上 31.3%	健康管理や終末期ケアなどの充実 27.3%	食事、行事、レクリエーションなどの充実、医療機関との連携の強化 各 26.3%	
	老人保健施設 (108 人)	話し相手などのボランティアを増やす 29.6%	医療機関との連携の強化 26.9%	家庭的な雰囲気づくり、食事、行事、レクリエーションなどの充実 各 24.1%		ケアの質の向上、健康管理や終末期ケアなどの充実 各 21.3%
	介護療養型医療施設 (63 人)	話し相手などのボランティアを増やす 27.0%	ケアの質の向上、健康管理や終末期ケアなどの充実 各 22.2%		家庭的な雰囲気づくり 19.0%	施設から家族への情報提供の充実 14.3%
	有料老人ホーム (65 人)	話し相手などのボランティアを増やす 41.5%	食事、行事、レクリエーションなどの充実 24.6%	医療機関との連携の強化 23.1%	家庭的な雰囲気づくり 21.5%	ケアの質の向上 18.5%
	認知症高齢者グループホーム (35 人)	医療機関との連携の強化、日常の事故防止対策の充実 各 22.9%		ケアの質の向上、話し相手などのボランティアを増やす、健康管理や終末期ケアなどの充実 各 20.0%		

※「特にない」を除いた順位

(8) 今後介護を受けたい場所(問27)

ご本人あるいはご家族は、今後、どこで介護を受けたいと考えていますか。
(もっとも近い考え1つに○)

図表 3-68 今後介護を受けたい場所(単数回答)



施設・居住系サービス利用者が今後介護を受けたい場所は、「このまま現在の施設(ホーム)で介護を受けたい」がもっとも高く63.2%を占める。

次いで、「特別養護老人ホームに移りたい」が16.8%、「在宅での生活にもどりたい」が4.6%となっている。

図表 3-69 今後介護を受けたい場所

		回答者数(人)	このまま現在の施設(ホーム)で介護を受けたい	特別養護老人ホームに移りたい	在宅での生活にもどりたい	介護つきの家庭的な小規模ホームで暮らしたい	老人保健施設に移りたい	一般の病院に移りたい	民間の有料老人ホームに移りたい	その他	わからない	無回答
全体		370	63.2	16.8	4.6	2.7	1.1	0.3	0.3	0.8	4.9	5.4
生活場所別	特別養護老人ホーム	99	80.8	0.0	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	8.1
	老人保健施設	108	42.6	35.2	3.7	4.6	0.9	0.9	0.0	0.9	3.7	7.4
	介護療養型医療施設	63	55.6	17.5	6.3	1.6	3.2	0.0	1.6	0.0	11.1	3.2
	有料老人ホーム	65	67.7	16.9	4.6	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	4.6	3.1
	認知症高齢者グループホーム	35	82.9	5.7	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0

生活場所別にみると、特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム利用者は、8割台が「このまま現在の施設（ホーム）で介護を受けたい」と回答している。

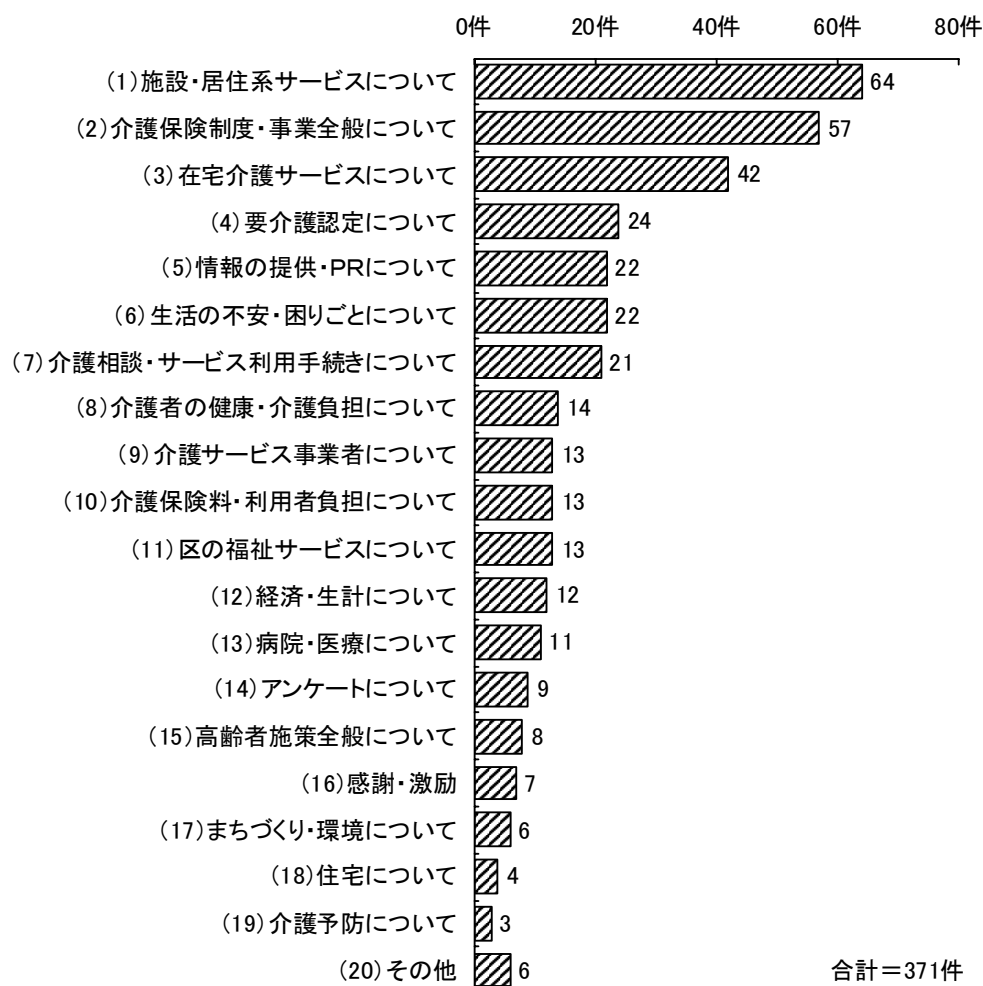
老人保健施設利用者では「このまま現在の施設（ホーム）で介護を受けたい」は4割強であり、「特別養護老人ホームに移りたい」が35.2%を占める。

介護療養型医療施設では「このまま現在の施設（ホーム）で介護を受けたい」は5割台、有料老人ホーム利用者では6割台であり、それぞれ1割台が「特別養護老人ホームに移りたい」と回答している。

8. 区に対する意見・要望

介護保険等でわからないこと、困っていること、区へのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

図表 3-70 区に対する意見・要望(自由意見)



(1)施設・居住系サービスについて 64件

- ・ 特別養護老人ホームを、できるだけ多く建設する事を願っています。
- ・ 特別養護老人ホームを増やしてほしい。経済的な面で、元一般サラリーマンの年金では苦しい。
- ・ 特別養護老人ホームの数が少なく、待っている人が多いのですが、他県で空いている所もあるように聞いておりますが、そのようなあっせんを区でやっていただけないか？
- ・ 公共の特別養護老人ホームに空きがなく、有料老人ホームに入居しました。公共施設の充実が必要だと思います。
- ・ 胃ろう等、医療器具を付けた場合にどこの施設でも受け入れて頂けますか。体が不自由になった時にも快適に生活して行けるようお願い致します。
- ・ 人工透析患者の入所できる施設が、近くにあればよいと思います。

- ・ 低料金の施設を増やしてほしい。
- ・ 現在グループホームに入居していますが、自分が見るかぎり本人は本人なりに満足している事と、私は思われます。職員の態度は親切丁寧に入居者に対し、自分にもできない事まで、手のとどく様にしてくれています。
- ・ 現在、自宅近くの病院に入院中です。入院してから5か月たち、病院が長期療養型医療施設を探してくれるとの事ですが、場所、費用等の事で不安です。また、紹介してくれた所が満足できない場合、どこに相談して良いのか分かりません。病院より退院をせまられたら、すぐに上記施設へ入所できるのでしょうか？
- ・ グループホームに入所させたく悩んでいます。母が認知症のため、娘の私と同居していますが、子どもが3人いるので、母から目が離せない日々はかなり辛いです。子どもの行事ごとも多く、デイサービスでは時間に追われ、落ち着いた暮らしができません。
- ・ インフルエンザ・ノロウィルスの集団感染に対する、各施設の教育を徹底してほしいと望みます。忙しく、スタッフの教育も十分とはいえないと思いますが、行政レベルで各施設のスタッフに対して、交代で講習を受けられるような条件があればと思います。
- ・ 入所時に1年間が最長ですと言われ、現在半年が過ぎました。次の施設を探さなければならぬと思うと不安です。やっと友人もできて楽しく過せる様になったのにかわいそうです。
- ・ 施設と病院との提携はあるようですが、医療行為の質に違いがあるようです。「気になるようであれば家族が病院に連れて行って下さい」と言われました。年老いて具合が悪くなる事が多くなりますのでスムーズに対処して頂きたいと思います。

(2)介護保険制度・事業全般について 57件

- ・ 介護制度が変わって困っている方がいます。紙1枚で、何もかも決めつけないでほしい。
- ・ 介護保険の仕組みが、複雑だと思えます。
- ・ 介護度による持点を使うにあたって、1日に何点・何時間とかしぼりを付けずに、持点の範囲内で利用者が使いたいように使わせてほしい。
- ・ 独居老人で、重度の要介護者に対しては、さらなる区の支援・理解・配慮・自己負担の軽減等、よろしくお願い致します。
- ・ 認知症の人たちに対する、対策の強化・充実を図るべき。
- ・ 介護予防ができてから、今まで利用できていた利用ができずに、泣いている老人が多い事を知ってほしいです。自立が目標という事も分かりますが、その人に合ったケアを考えてほしいです。切り捨てる制度というのはどうでしょうか。老人は国の宝です。大事にしてほしいです。
- ・ 認知症の人の不安（自分の病状がこれからどうなるのか？）を理解してほしい。サービスの内容等が、難しくてわからない。
- ・ 目に見えない障害（事故による脳障害）にも介護保険の適用をしてほしい。
- ・ 針、鍼灸の治療代を自費ではなく保険制度で行ってもらいたいと思います。歩行困難で移動はすべてタクシーに頼っておりますので、無料バス券も利用できません。
- ・ 今後も要介護の人は増加します。介護保険の保険料を20歳から徴収し、特養ホームをもっと増やすべきだと考えます。
- ・ 介護保険料を払っているのだから一括の契約をしなくても必要な時に利用できるといいと思います。

- ・ 認知症の問題行動がとて疲れる。ケアマネジャーには恵まれたが、仕事をしながら認知症の親をみていく体制が現在の状況では皆無に等しい。家族の介護力を支える体制づくりが望まれる。
- ・ 介護に携わる人の教育をちゃんとやって頂きたい。
- ・ システムが変わってばかりいる事にはとまどいや、現場の意見が反映されていないと感じる事も多々あります。精神的な面などでもう少しあたたかいサービスが受けられるようになったらと思うのは、よくばりなんだろうかとも思っています。

(3)在宅介護サービスについて 42件

- ・ お使いや通院、理容等に、家族も年をとって押していられないので、その様な時にヘルパーさんを自由に使ってよいといってもらいたいです。
- ・ 身体介護や生活援助等のサービス内容があるが、規則を一本化してほしい。区別すると、サービスを受ける方もわずらわしい。
- ・ 主人の介護をしておりますが、仕事で出かける事があります。そんな時、前もってお願いしておけば、ヘルパーさんに来て頂けると思い、相談しましたが、それは無理と言われました。在宅介護をしながら仕事をしている者にとっては、すごく大変です。
- ・ 入浴・洗髪は、サービス提供者の時間帯に合わせて、家族（同居ではない）が見守る事は、日程、時間的に全く不可能。ヘルパーさんの立会いでも可として頂きたい。
- ・ 現在ヘルパーが通院介助をしてくれるが、今後介護度が変わり通院介助を受けられないと、ひとりで行くことができないから困る。
- ・ デイサービスでは、喜んで出かけ助かっていますが、日中の特にいつもと違うことがあった時等、ノートに様子を書くよう指導して頂きたく思っております。
- ・ デイサービスに空きがなく、週1日しか通えないので困っています。そしてデイサービス先での入浴を希望していますがそれも一杯で利用させてもらえないことが特に悩みのタネとなっています。もっと充実したサービスを提供していただけるよう願っています。
- ・ 急な用事ができた時、ショートステイを利用できるようにして頂きたい。
- ・ ショートステイの時、もっとゆっくり楽しく入浴をさせてほしい。リハビリをもう少しやってほしい。
- ・ ショートステイを希望しても、現在胃ろうをしていますので利用できる施設がありません。介護する者が体調が悪い時など、3日で良いからショートステイに行けると良いと思っています。
- ・ ショートステイを申し込み、利用したいと思っているが、電話をかけてもつながらない。つながった時は、キャンセル待ち。しかし、1度もキャンセル待ちで順番がきた事がない。すべての希望者に公平にできるように、電話での申し込みから、はがき順番制にしてください。

(4)要介護認定について 24件

- ・ 近所のご老人ですが、何でもひとりでできるのに、ヘルパーさんが来て介護していくのですが、元気で動ける人に介護サービスは必要ないと思います。正しい介護認定を望みます。本当に動けない人のために、十分な介護をできる様でなくてはならないと思います。
- ・ 介護認定期間が切れる場合、予め2~3か月前に連絡をもらいたい。
- ・ 認定区分の見直しは半年ではなく、1年にしていただければ嬉しいです。

- ・ 認定調査員の教育が不十分な時があると感じる。外部委託の限界を感じる。「マニュアル通り」「事務的対応」、介護される人への思いやりが非常に大切。特に、認知症・脳障害に対する理解が不足している人が多いように思える。
- ・ 本人は外面が良く、いつもは横になっているのに介護認定に来て下さる方にはしっかりとした態度を取ります。元気になった訳ではないので家族の者は苦勞しています。
- ・ 介護度の認定が下がってしまったが、実際には毎日の生活が前よりできなくなり大変困っています。身体は動かなくなったのに認定は厳しく、日々の生活不自由で困っています。

(5) 情報の提供・PRについて 22 件

- ・ 施設について、管理面や経済面で、どのような点がよいかわかる一覧があるとよいと思います。例として、一流ホテルのようなランクやよさがひと目でわかるものがあればと思います。施設・場所・経費など、教えていただきたいです。
- ・ サービスの一覧（例えば、福祉タクシーの申込先など）を壁に貼っておけるような形にして、配布してほしい。
- ・ 制度が変わるのもっとわかりやすくしてほしい。
- ・ ケアマネジャーを選ぶ時の情報が住所・名前・余裕の有無位である。ケアマネジャーの持っている情報、知識、経験が良い介護内容との出会いにつながると思う。そういう情報がほしい。
- ・ 墨田区には介護保険を説明してくれたりするボランティアがいるとの事ですが、数が少ないのか現状困っている方が多い。このボランティアが増えて活動を広げ、皆平等にサービスを受けられるようになったら良いと思います。

(6) 生活の不安・困りごとについて 22 件

- ・ 要介護 2 で、家の中もわからず、うろうろして歩きまわるか、テレビの前にも、ソファを向いてぼーっとしているのです。何のために生きているのか、かわいそうになります。毎年だんだん悪くなり、この先どうなっていくのか心配です。
- ・ 胃ろうと脳こうそくの後遺症のための失語症・認知症のため、約 2 日間寝て 2 日間起きている（起きている時、ベッドの上であばれる）。このため、デイサービスとショートステイに行けない。このため介護が大変になっている。
- ・ 地震や火災等による防災上の面から、寝たきりに近い年寄りをかかえている我家では、ひとりではとても連れ出すことが難しい。町会等の取り組みはどこまで頼りになるものだろうか。近隣とのお付き合い程度ではとても心細い。
- ・ 介護保険の事すら何も分からず流れに流されて、ひとり暮らしで寂しくつらい一生を迎えていくのが私達家族としてもとてもつらく、いずれ自分達も通る道なのでとても心配で母のことを見守っていくしかないのがとてもつらい。

(7) 介護相談・サービス利用手続きについて 21 件

- ・ 介護者が相談できる場所を知らせてほしい。
- ・ どのような手順を追って手続きを進めたらよいのかマニュアルがあると助かります。区役所に出向く時は本当に困りはてた時です。相談に行く人自身、ヨタヨタで自分の事がやっとかもし

れません。優しい笑顔と口調での対応をお願いいたします。高齢者のみの世帯へは定期的に訪問などがあるとうれしいですね。

- ・ 介護のことで何度か相談に行きましたが何も解決されずに悩みが深くなり介護する者が身体を壊すことになってしまいました。もう少し親身になって相談に耳をかたむけていただいて、解決する方向にもって行ってほしいと思います。
- ・ 急に介護が必要になった時、諸届、手続き等が煩雑で、介護をお願いするまでに時間がかかり過ぎて間に合わない事が多い！！
- ・ ケアマネジャーに相談してもすぐに対応してくれない。1か月に1回訪問して来るが、今困っているのに翌月までに調べておきますと言われる。対応が遅いと思う。介護保険についてあまり分からないので情報提供してほしい。

(8) 介護者の健康・介護負担について 14 件

- ・ 介護に疲れて、家族はバラバラ状態です。いつまでこんな生活が続くのかと、絶望的な気持ちになりそうです。ニュースで時々知らされる悲劇的な事件は、他人事と思えません。
- ・ 要介護者（要介護度 5）を主として介護している私が 80 歳、俗に世間で言う老老介護で心労、身体的疲労が極度に達しております。できれば 1 日も早く特別養護老人ホームの入所をお願いしたいと思います。
- ・ 介護が長期化しますと介護者の心身の負担も小さくありません。そんな時の心の支えになるような支援があったらどんなにか心強いと思うのですが。

(9) 介護サービス事業者について 13 件

- ・ ホームヘルパーさんの教育を徹底してほしい（特に秘密厳守）。口の軽い人がいるのは困ります。
- ・ 担当のヘルパーが、ちょくちょく辞めたり替わるので困ります。一般の社会常識では、1 年に担当が 4~5 回ぐらい替わるのは考えられません。
- ・ スタッフさんの忙しさを見ていると、本当に大変だと思います。家族ができないことを、一生懸命やってくれています。有難いと思っております。ただし人手不足じゃないかと思えます。ゆとりを持って、介護に接してもらえたらうれしいです。
- ・ 区では、外国人のワーカーさんを受入れることへの取り組みなどは行われているのでしょうか。モデルケースとしてころもみていただけないでしょうか。

(10) 介護保険料・利用者負担について 13 件

- ・ いろいろな介護サービスがあるのは、良くわかりました。でもお金がなくて受けられません。それでも介護保険料を取りますか。
- ・ 特別養護老人ホーム等に個室はらないと思う。移動に（介護タクシー）お金がかかる。もう少し安くできないものか。
- ・ 限度額に比べ、利用料の高すぎるのを不満に思っております。利用料が高いため、サービス時間が少なくなり、介護に時間が足りなく困っております。
- ・ 施設費が高いので、もう少し安いと助かる。

(11) 区の福祉サービスについて 13 件

- ・ 住んでいる所が、バスも通っていないし、家から駅まで遠いから、老人には通院するのにすごく大変です。できたら、タクシー券を発行してください。金銭面で大変です。
- ・ 要介護認定が受けられない状況でも、車イス等のレンタル等できるようにしてくれたら、負担が減り助かります。
- ・ 紙オムツなど介護度に関係なく必要な人に配布してほしい。
- ・ マッサージのサービスをしてほしいです。

(12) 経済・生計について 12 件

- ・ 以前はデイサービスも利用しておりましたが、経済的な理由により利用できずにおります。低所得者等への、経済的支援を望みます。
- ・ 収入が低い世帯などの助成をしてほしい。
- ・ もう少し所得が増えて、ゆとりのある暮らしがしたい。

(13) 病院・医療について 11 件

- ・ 検査のお金も結構これからかかるので、何とかしてほしいです（タクシー券発行、医者代の免除）。どうかよろしくお願いします。
- ・ デイホーム・ショートステイの医療費控除を認めてもらいたい。
- ・ 医者の往診のお願いです。かかりつけの医者がおりますが、出かけて行けません。

(14) アンケートについて 9 件

- ・ こういったアンケートは良いと思いますが、本当に介護サービスをよくしたいのであれば、要介護度などの認定の見直しなど、抜本的に変えた方が良いと思います。
- ・ 書面での調査では、どこまで理解してもらえるのかが正直不安に思います。決まった項目だけの選択が難しいからです。

(15) 高齢者施策全般について 8 件

- ・ 個人情報保護法の問題もあるとは思いますが、地域の人たちに、ここには高齢者がひとりで住んでいますよ、位の情報を公開して、周りの皆が分かるようにして、見守ってあげられるようになれば、うれしいと思います。
- ・ 高齢者が多くなり、以前より福祉が進歩したと思感謝しております。もっと高齢者に、お金の負担がかからない制度を望みます。医療とかケアに対して。

(16) 感謝・激励 7 件

- ・ 介護保険の有難さを感じ、感謝しています。
- ・ このたびの調査にお答え致しながら、昔の事を考え、有難い事だなあと心から感謝致して居ります。

(17)まちづくり・環境について 6件

- ・ タクシーの値上げで、病院通いに困っています。区内を数ブロックに分けて、マイクロバスを巡回して、時間に病院への送り迎えをすることはできませんか？
- ・ 本人は車椅子移動のため、デイサービスや病院位しか出かける場所がありません。買物も車椅子ごと入れる場所はスーパーマーケットくらいで、車椅子で気軽に立ち寄れる場所があつて、他の人達とも会話ができればと思っています。

(18)住宅について 4件

- ・ 都営住宅（墨田区内）に入居したい。低所得者なのでアパート代も大変です。
- ・ 高齢者のひとり暮らし、未婚の独身者が多いため、都市型集合住宅とか高齢者が互いに助け合い共同生活のできる住宅等増やしてほしいです。

(19)介護予防について 3件

- ・ 高齢者のレクリエーション施設を、居住する近辺（商店街等の施設を利用しては？）にほしい。高齢化が進み、家族の介護が困難と認識する前に、また、認知症になる前に身体の訓練（ラジオ体操）、カラオケ、民謡等を行う施設。
- ・ 介護認定には至らないが、決して健常とはいえない、要介護予備群の方が利用できる予防プログラム（特に精神面、認知症関連）を増やしてほしい。

(20)その他 6件

- ・ 介護保険を安くし、必要でない物に税金を使わないでほしい。
- ・ 先日頂戴しました金婚の賀額はもったいないと思います。区の予算を使ってまで作って送る事はないでしょう。書面一枚でも良いのではないのでしょうか。